

第五十九回 帝國議會
衆議院

地租法案外六件委員會議錄(速記)第二十回

付託議案

地租法案(政府提出)
營業消費稅法中改正法律案(政府提出)
砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)
明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(政府提出)
方稅制限ニ關スル件(政府提出)
方稅大正十五年法律第二十四號中改正法律案(地
都稅ニ關スル件(政府提出)
耕地整理法中改正法律案(政府提出)
改正法律案(政府提出)

昭和六年二月二十六日(木曜日)午前十

時五分開議

出席委員左ノ如シ

米藏君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 井上準之助君

内務大臣 安達 謙藏君

委員長 本田 恒之君

理事 西脇 晉君

理事 永田善三郎君

理事 中村 繼男君

理事 高橋熊次郎君

理事 清水 銀藏君

理事 海老澤爲次郎君

理事 菊池 良一君

理事 辻本豊三郎君

理事 本多真喜雄君

理事 一柳仲次郎君

理事 内田 信也君

理事 武田徳三郎君

理事 藤井 達也君

理事 岡田 忠彦君

理事 八田 宗吉君

同日委員藤井達也君及津雲國利君辭任
ニ付其ノ補闕トシテ八田宗吉君及前田

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

地租法案(政府提出)

營業消費稅法中改正法律案(政府提出)

砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)

織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(政府提出)

大正十五年法律第二十四號中改正法律案(政府提出)

都市計畫法中改正法律案(政府提出)

法律案(地方稅ニ關スル件)(政府提出)

法律案(地方稅制限ニ關スル件)(政府提出)

日遂ニ其材料ガ御提出ニナラナカッタ
ノデアリマス、非公式ニ事務官ノ方カ
ラ私ニ、其材料ヲ作ルノハ頗ル困難ダ
カラ、成ベク便宜ナ方法ニシテ吳レト
云フ御交渉ガアリマシタカラ、私ハ今
ヤ委員會モ終結ニ近付イテ居ル今日デ
アリマスカラ、私ノ希望通リノコトハ
出来ナイト云フコトデアリマスレバ、
便宜上出來ルダケ專賣局ノ方デ、御都
合ノ好イ御計算デモ宜イト云フマデ、
私ハ讓歩的ノ御話ヲ申シテ置イタノデ
アリマス、ソレモ遂ニ昨日モ御提出ニ
ナラズ、今日ニ及シテ居ルノデアリマ
スルガ、成ベク早ク其御提出ヲ願ッテ、
私ノ保留シタ質問ヲ片付ケタイト思
テ居ルノデアリマス、ソレヲ御諒解ノ
上速ニ材料ノ御提出ヲ願ヒタイノデア
リマス

○加藤委員 議事進行ニ付テ——只今

武田君カラ御請求ナリマシタコトニ付

キマシテ、更ニ私モ葉煙草ノ色々ノ材

料ヲ得タイト思ヒマス、此場合此處デ

申上グマス、一ツ六年度ニ於ケル葉煙

其御答辯ガ要領ヲ得ナイ爲ニ、御答辯

イタノデアリマス、其材料ノ御提出ヲ

草賠償價格ノ引下ニ依ル原料費ノ減、ソレニ依ル、專賣益金ノ増、ソレニ依ル、專賣手數料減ニ依ル、ソレダケ至急御提出相成ルヤウニ御願致シマス

アリマス、平年度ニ於ケル元賣捌廢止カラ三ハ工賃減、ソレカラ次ニモウーツニ依ル、專賣益金ノ増、ソレカラ次ガ小賣手數料減ニ依ル増、ソレダケ至急御提出相成ルヤウニ御願致シマス

○岡田委員 私ハ大藏大臣ニ前回ノ質問ノ續ニ付テノ御答辯ヲ求メマス、即チ租稅ノコトニ付キマシテ、大藏大臣ノ說ト小川政務次官ノ說トハ、全ク其傾向ニ於テ反對ニナツテ居ルノデアリマス、速記錄其他御調查ノ上御答願ヒマス

○井上國務大臣 先日御約束致シテ置キマシタヤウニ、速記錄ヲ詳細ニ通讀致シマシタ結果ハ、小川政務次官カラ皆様ニ幾日デアリマシタカ、松谷君ニ答ヘタ文句ニ付テ、何ト申シマスカ疏明ト申シマスカ、多少言葉ノ行違ノアツタコトニ付テ、申上グルサウデアリマスガ、丁度只今小川君ハ參ッテ居リマセヌカラ、參リマシタラ早速其手續ヲ執リマス

○岡田委員 小川君ノ答辯ハ固ヨリ大事デアリマスガ、大藏大臣トシテノ御意見ヲ此場合御發表ヲ願ヒマス

○井上國務大臣 小川政務次官カラ一應申上ゲテ、ソレニ對シテ私ガ後ニ、私居ラレマスレバ、内務大臣ハ思想善導

ノ申上グルコトヲ申上ゲマシタ方ガ宜カラウト思ヒマスカラ暫ク御待ヲ願ヒマス

○岡田委員 ソレデハ仕方ガアリマセヌカラ待チマセウ、ソレナラ私ハ今ノ國務大臣カラ御答辯ノアルマデ、他ノ委員カラ……

○加藤委員 地租ノ大綱論ハ屢々質疑ノ付テナリマシタガ、私ハ本日ハ地租ノ條文ニ付テ是カラ質疑ヲ致シタイト思フ

ト云フモノニハ地租ヲ課シテ居リマセヌガ、尙ほ此外ニ無格社ト云フノガアルノデアリマス、是ハ社格コソアリマス、而シテ思想善導トカ敬神ト云フヤウナコトカラ言ヘバ、普通ノ社地ト云フモノト權衡ガ取レナイヤウニナガ、是ガ省イテアル、マア前モ省イテアルベキモノナリト信ズルモノデアリマスガ、内務省ノ方ノ側ハ之ヲ何ト見ルカ、大藏省ハ唯租稅搾取主義カラ是モ除イタルベウデアリマスルガ、是ハ當然加ヘノ理由ト致シマシテハ、例ヘバ是ハ無

格社ノ中デ有名ナモノデアリマスガ、東京市ノ水天宮デアリマス、アレハ御承知ノ通り或ル私人ノ邸内ノ一部ニ設道路ト云フモノハ、現行法制定時代ニ云フモノガアリマスルガ、之ニ更ニ云ベキモノナリト信ズルノデアリマス、ト申シマスルコトハ、自動車専用

ノ申上グルコトヲ、先づ大藏省側ノ御意見ヲアナタカラ承ッテ、ソレカラ……

ト云フコトヲ常ニ言ッテ居リマスガ、只今内務省ノ方ノ人ガ居ラレマセヌカラ、之ヲドウ御考ヘニナリマスカ

ト云フコトヲ、大藏省側ノ御意見ヲアナタカラ承ッテ、ソレカラ……

○青木政府委員 只今内務省ノ神社局ノ長ガ參ッテ居リマセヌガ、是ハ神社局ノ主管ノ事デゴザイマス、サウシテ内務省神社局長ト私ノ方デ色々打合セハ致シマシタノデゴザイマス、其結果ハ只

ト云フコトニナルノデアリマスガ、從來問題ニナツテ居リマス寺院佛堂等ノ宅地ノ免租ノ問題デゴザイマスガ、此無格社ヲ免租ト致シマシテ、神社地ハ總テ免租ニスルト云フコトニ致シマ

スル雲ト、寺院佛堂等ノ宅地ノ免租ト云フモノト權衡ガ取レナイヤウニナガ、是ガ省イテアル、マア前モ省イテアルベキモノナリト信ズルモノデアリマスガ、内務省ノ方ノ側ハ之ヲ何ト見ルカ、大

藏省ハ唯租稅搾取主義カラ是モ除イタルベウデアリマスガ、内務省ノ方ノ人ガ宅地トノ區域ガ判明シナカニ點モノアルノデアリマス、又サウ云フ風ナ私人ノ邸

宅ノ一部ニ設ケラレテアリマセヌ無格社デアリマシテ、邸外ニ設ケラレテ居ルモノデアリマシテモ、非常ニ水天宮様ノヤウニ信徒ガ多クアリマシテ、隨テ多額ノ所得ヲ生ズルモノガアルト云フヤウナ點ヲ考慮致シマスト、是ハヤハリ現行法通リニ据置クコトガ妥當デアルト考ヘマシテ、現行法通リニ致シマシタ譯デアリマス

○加藤委員 神社局長ニ一つ出テ戴クヤウニ委員長カラ御取計ヒヲ願ヒタイト思ヒマス、其時マデ私ノ此問題ニ對定ヲ致シマシタ、其譯ヲ大體申上ゲタスル質疑ハ保留致シテ置キマス、是ハスル質疑ハ保留致シテ置キマス、是ハ市制及ビ府縣制ノ中ニ於テモ御承知ノヤウニ無税ニナツテ居ルコトデアリマス、大藏省ハ何デモ搾取主義デヤラレル結果斯ウ云フコトニナツタト思ヒマスガ、是ハ何レ神社局長ガ出ラレタ上デ、私ハ又併セテ質疑ヲシテ、大藏當局ノ御辯明ヲ得タイト思フノデアリマス、ソレカラ此第五デアリマス、公衆用道路、鐵道用地、軌道用地、運河用地ト云フモノガアリマスルガ、之ニ更ニ私ハ自動車専用道路ト云フモノヲ當然加ハ

フベキモノナリト信ズルノデアリマス、ト申シマスルコトハ、自動車専用道路ト云フモノハ、現行法制定時代ニハナカツタノデアリマスルケレドモ、昨

ト云フヤウナモノガ近ク出ル——今日

出たト云フコトデアリマスルガ、將來是ガ道路網トカ何トカ云フモノ、主ニナラナケレバナラヌモノデアリマシテ、一般ノ公衆用道路ヲ自動車ガ走ツタリナニカスルト云フコトハ時代遅レノコトデ、現ニ大船片瀬間ニ於テ日本ニ一ツ出來テ居ルノデアリマスガ、是ハ惟フニ今後地方鐵道ニ殆ド是ガ代ルベキ時代ガ來ルモノナリト云フコトヲ、數年前ヨリ議會デモ申シマシタガ常ニ信ジテ居リマス、然ルニ自動車專用道路ト云フモノヲ、私人ガ歩道ト同様ニ相當ニ金ヲ掛けテ造ツテ、一般ノ民衆ヲ通ラサヌ、此交通ノ整理ノ上ニ於キマシテモ是ハ重要ナモノデアルノニ、之ヲ省イテアルト云フコトハ、餘リニ時代ノ推移ニ目ヲ塞イデ居ラレタ結果デアラウト思フノデアリマスガ、特ニ之ヲ載セラレナカッタ理由如何、或ハ斯ウ云フコトヲ御聽ニナレバ成程是ハ載セナルダラウト思フ、之ニ對スル御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○青木政府委員 自動車專用道路ノ免租ニ付キマシテハ、只今御話ガゴザイル法律案ヲ作リマシテ、議會ノ御協賛ヲ經タイト云フ希望ガ内務省、鐵道省方面ニアリマシテ、其場合ニ於テ是ガ免租ヲシテ貴ヒタイト云フ御相談ハ現ニ起ツテ來ルモノデアリマスカラ、左様ニマス、本案ヲ起草致シマシタ際ニ云フ程話モマダ進マナイ際デアリマダ左様ナ法律案ガ議會ニ提出ニナルト云フ程話モマダ進マナイ際デアリマシタノデ、現行法通リニ致シテ居リマス、本案ヲ起草致シマシタ際ニハ、其専用道路ノ免租ト云ス

○加藤委員 此地租法ヲ御提出ニナルニ付テ法制局マデ大藏省ガ御出シニナタ時ハイツ頃デゴザイマスカ

○青木政府委員 御答致シマス、此地租法ハ昭和四年ノ秋ノ末カラ冬ニ掛けマシテ此法案ヲ作リマシテ、其時ハ減税ノ問題モ何モナイ時デアリマスガ、是ハ結構デアリマスカラ非難ハ致シマスレバ農林省ノ或ル局長トカ、課長セネバナリマセヌシ、今ノヤウニ進ミニマシタ通リ、神社局長ノ出席モ要求は入ラウガ、大體デアラウガ、ソレハ宜シクト云フ委員長ノ御方針デアレバ、是ハ結構デアリマスカラ非難ハ致シマス、ソレヲ御含ミノ上總テ此場合逐條質問デアリマスカラ、先刻御要求ガアニ入ラウガ、大體デアラウガ、ソレハ宜シクト云フ委員長ノ御方針デアレバ、

○本田委員長 大口君ノ御尋ニ御答致シマスガ、委員會ヲ開クニ當リマシテハ、最初ハ大體ノ質問ヲシテ、而シテ細目ニ瓦ルト云フ委員長ノ考デアリマタガ、政府委員若クハ大臣ノ御差支、彼此レデ其順序ヲ逐フコトガ出來ナカッタガ、政府委員若クハ大臣ノ御差支、彼ノ方ノ都合ト質問者ノ都合ニ依リマシテ、大體或ハ細目ニ瓦ルト云フヤウナ

○大口委員 私ハ決シテ非難致ス譯デ
ハアリマセヌ、委員長ノ御方針ヲ此場
合明カニ致シテ置ケバソレデ結構デア
リマス

○中村委員 只今大口サンカラ議事進
行ニ付テノ御話ガアリマシタガ、考ヘ
テ見マスト、會議ヲ開クコト殆ド二十
回、時間ニ致シマシテモ此議會ニ於ケ
ル「レコード」ヲ破ッテ居ルト私ハ思フ、
サウシテ最近ニ於ケル政友會ノ諸君ノ
御話ヲ承リマスト、私共カラ考ヘマス
ト、勿論細目ニ立入テノ御質問モ必要
デアリマセウガ、如何ニモドウモ其邊
マデ行カナクテモ宜イノデハナイカト
云フ風ニ考ヘルコトヲ(「ノー、ノー」)
時々御質問ニナル點ガアルノデアリマ
ス、私共ハ今日マデ此長イ間全ク協調
ヲ保ッテ進行ヲ圖リタイト云フ考ヲ以
テ進ンデ來タノデアリマスガ、今日ニ
細目ニ入ルノデアルカ、斯ウ云フヤウ
ナコトデ審議ヲ進メテ行クナラバ、恐
ラク議會中全部ノ日子ヲ費シテモ私ハ
出來ヌト思フ、斯ウ云フ點カラ考ヘル
ナラバ、私共ノ考カラスレバ、今當面ノ
問題トナッテ居リマス所ノ内田君ノ質
問、之ニハ海軍大臣モ既ニ御見エニナッ
テ居リマス、又岡田君ノ質問モ内務大

臣ニ多少残ツテ居ルト云フコトデアル、必要デアルト云フヤウナ御批評ハ、是
サウシテ大口サンガ其後ニ總括的ノ御
質問ヲ爲サル、斯ウ云フコトデアルナ
ラバ、是ハ今日中カ、或ハ其内ニハ終ル
デアラウト思フ、ソレヲ尙ホ枝葉末節
ノ問題ニ瓦ツテ(「枝葉末節トハ何ダ」)
「無禮ナコトヲ言フナ」と呼フ者アリ)
サウシテ引延シテ、如何ニモ吾々カラ
見レバサウ云フ風ニ思ハレルヤウナコ
トヲ繰返ストハ、私共洵ニ殘念ニ思フ
ノデアリマス、ドウカ委員長ハ其點ヲ
御注意下サッテ、質問ヲ適當ニ打切ッテ
戴キタイ、斯ウ云フ事ヲ申シテ置キマ
ス、左様ナ事情ニハ只今ナッテ居リマセ
ヌ、私共ノ質問ニシテモ多大ナ質問ガ
ト、勿論細目ニ立入テノ御質問モ必要
デアリマセウガ、如何ニモドウモ其邊
マデ行カナクテモ宜イノデハナイカト
云フ風ニ考ヘルコトヲ(「ノー、ノー」)
時々御質問ニナル點ガアルノデアリマ
ス、私共ハ今日マデ此長イ間全ク協調
ヲ保ッテ進行ヲ圖リタイト云フ考ヲ以
テ進ンデ來タノデアリマスガ、今日ニ
細目ニ入ルノデアルカ、斯ウ云フヤウ
ナコトデ審議ヲ進メテ行クナラバ、恐
ラク議會中全部ノ日子ヲ費シテモ私ハ
出來ヌト思フ、斯ウ云フ點カラ考ヘル
ナラバ、私共ノ考カラスレバ、今當面ノ
問題トナッテ居リマス所ノ内田君ノ質
問、之ニハ海軍大臣モ既ニ御見エニナッ
テ居リマス、又岡田君ノ質問モ内務大

○高橋委員 私ハ今中村理事カラシテ
非常ニ奇怪ナ事ヲ承ルノデアリマス、
法律ノ審議ニ當ツテ逐條ニ事ヲ承ル必
要ガアッタ時分ニ、ソレヲ承ルコトガ何
ガ枝葉末節デアリマスカ、法律ノ審議
ニハ委員ノ職責トシテ當然自分ノ疑義
ヲ明カニシナケレバ、之ヲ審議シタト
云フコトハ言ヘナイデハアリマセヌ
カ、況ヤアナタ方ハアナタ方ノ立場ト
シテ是ハ熟知ノ事實ト思ハレルカモ知
れマセヌケレドモ、吾々ノ立場トシテ
ハ幾多ノ疑義ガアリマス、ソレデ色々
細カイ質問モアリマスガ、是ハ他ノ大
きな質問ノ前程トシテ之ヲ伺フコトモ
斯様ニ考ヘルノデアリマス、重大ナル
質問應答ニ當ツテ、是ガ必要デアル、不

フモノヲ鮮明ニ致スコトガ、議事ノ進
行ヲ圖ル上ニ於テ上院下院、衆議院、貴
族院ヲ無事ニ通過スル上ニ於テモ、最
終モ必要ナルコト、思ヒマスルカラ、此
意味ニ於テ委員長ニ於テハ吾々ニ質疑
ヲ十分ニ御許シアランコトヲ此場合御
願致ス次第デアリマス
○本田委員長 暫ク御待チ下サイ、只
留保サレテ居ルノデアリマス、殊ニ私
ノデアリマス、ドウカ委員長ハ其點ヲ
トモノハ大體御了解デアラウト思フケ
レドモ、ソレニ對スル答辯ハ何等徹底
致シテ居リマセヌ、是等ノ事ニ付テモ
吾々ハ此委員會ニ於テ明カニシナケレ
バナラヌト云フコトヲ本會議ニ於テ私
ハ闡明ヲ致シテ居リマス、是等ノ疑義
等ニ付テモソレト、或ル機會ニ於テ私
ハ順位ヲ譲リテ暫クソレヲ待ッテ
數日ニ瓦ツテ居リマスルカラ、便宜上他
カニシナケレバナラヌ、唯私ノ質問ガ
ノ人々ニ順位ヲ譲リテ暫クソレヲ待ッテ
居ルノデアリマス、斯様ナコトデアリ
マスル公衆用道路、鐵道用地、軌道用
地、運河用地、斯ウ云フ問題ニ付テ自動
車專用道路ガナイデハナイカト云フヤ
マスル公衆用道路、鐵道用地、軌道用
地、運河用地、斯ウ云フ問題ニ付テ自動
車專用道路ガナイデハナイカト云フヤ
ウナ御願ヲ致シマスルト、加藤君ノ御
シテ是ハ熟知ノ事實ト思ハレルカモ知
れマセヌケレドモ、吾々ノ立場トシテ
權ヲ葬リ去ラントスルガ如キコトハ、
横暴モ亦極マレリト云フ非難ヲ受ケテ
モ、アナタ方ハ辯解ノ辭モナカラウト
半分以上残ツテ居ルデハアリマセヌカ、
枝葉末節トハ何處カラ言フコトデアリ
テ、様々ナル重重ナ事項ガ本案全體ノ
省ニ於キマシテ法律案ヲ出シタ上ニ於
テ、質問ガ尤デアリマスルカラ、現ニ鐵道
案ニ於キマシテ法律案ヲ出シタ上ニ於
テ、横暴モ亦極マレリト云フ非難ヲ受ケテ
モ、アナタ方ハ辯解ノ辭モナカラウト
半分以上残ツテ居ルデハアリマセヌカ、
枝葉末節トハ何處カラ言フコトデアリ
マスカ、全ク此內容ヲ見マスル時ニハ、
アルノデアリマス、左様ナ事ヲ一々此
法案デアリマスルガ故ニ、益々比疑義ヲ

大綱ノ問題ハ言フマデモナイコトデア
リマスガ、慎重審議ヲ重ネル上ニ於テ、
是等ノ條文ニ就キマシテ一つ／＼之ヲ
質問スルコトハ、議員ノ權能デアルト
吾々ハ考ヘテ居リマス、此大切ナ事ヲ
枝葉末節ト云フヤウナコトデ以テ葬リ
去ラントスルガ如キコトハ、議員ノ權
能ヲ無視シタモノト思ヒマスカラ、十
分委員長ニ於テハ御注意願ヒタイト思
ヒマス（拍手）

○中村委員 藤井君カラ加藤君ノ質問
ニ對シテ枝葉末節ト言フコトノ御話ガ
アリマシタガ、ソレハ誤解デアル、サウ
云フコトヲ申上ゲテハ居ラヌ、何デ申
上ゲタカト云フト、大口君ノ言葉ニ依ッ
テ見ルト、大體大綱カラ御進ミニナル
ノデアルカ、或ハ細目的ニ、逐條的ニ御
進ミニナルノデアルカ、サウ云フコト
ハ初メカラ御決メニナッテ居ルカ、如何
ニモ今ハ大綱デアノテ、枝葉末節デナイ
カモ知レマセヌガ、是カラ細目ニ這入ッ
テ行ク、前途ハ非常ニ遼遠デアルト言
ハシバカリノ御質問デアッタ（「是ハ怪
カラヌ」「馬鹿ヲ言フナ」其他發言者多
故ニ、私ハ今ニナッテサウ云フコトヲ言
シ）吾々ハサウ考ヘタ、ソレデアルガ
テ、バ吾々モ考ガアル、吾々ハ實際今日
ウテ、今日マデ二十日以上、一箇月以上
費シテ來テ居ル今日ニ於テ、尙ホ更ニ
委員會ハ終ルコトガ出來ナイカラ、サ

○大口委員 只今ノ中村君ノ發言ニ對
シテ議事進行上私ハ御許ヲ願ヒタイ、
一身上ノ辯明カラモ言ハナケレバナラ
ス、私ハ委員長ノ先刻ノ御答辯デ満足
シテ居ルノデアリマス、委員長ヲ信ジ
テ居ルノデアリマス、然ルニ中村君ハ
私ガ議事進行上秩序ヲ立テタイト思
テ委員長ノ御意見ヲ承ルノニ對シテ、
私ガ何カラ議事デモ引張ルコトデ
ノ事マデ私ガ何カラ考ヘテヤラセルト云
フコトハ中村君要ラヌコトデアル、ソ
レハ發言權ガアルカラ勝手ニ仰シャル
ノモ宜イガ、サウ云フコトヲ以テ吾々
ヲ壓シ去ラウトスルナラバ考ガアル、
ソレハ實ニ失言ダト思フ、私ハソンナ
コトヲ以テ委員長ニ議事進行ヲ求メテ
居ナイノデアル

○本田委員長 海軍大臣ガ出席ニナリ
マシタカラ、此際……加藤君——加
藤サン、一寸待ッテ下サイ、海軍大臣
ガ……

○加藤委員 發言ヲ許シテ置イテ困
デハナイカ

○本田委員長 ソレデハドウゾ……

○加藤委員 只今中村君カラ枝葉末節
ノヤウナコトニト云フ議事進行ニ付テ
ノ御議論ガアリマシタガ、苟モ此法律
ノ條文ヲ一ツ抜キマシタラドウ云フコ

ウ云フコトハ御互ニ慎ミタイ、斯ウ云
フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○本田委員長 此問題ニ付テハ適當ニ
處置スルト云フコトヲ言ヒマシタカ
ラ、此程度デ止メテ戴キマセウ、此場合
議事ノ進行ニ付テハ委員長ガ適宜ニ處
置ヲスルト云フコトヲ宣言致シマシタ
カラ、諸君ハ左様ニ御諒承ヲ願ヒマ
ス

○大口委員 只今ノ中村君ノ發言ニ對
シテ議事進行上私ハ御許ヲ願ヒタイ、
一身上ノ辯明カラモ言ハナケレバナラ
ス、私ハ委員長ノ先刻ノ御答辯デ満足
シテ居ルノデアリマス、委員長ヲ信ジ
テ居ルノデアリマス、然ルニ中村君ハ
私ガ議事進行上秩序ヲ立テタイト思
テ委員長ノ御意見ヲ承ルノニ對シテ、
私ガ何カラ議事デモ引張ルコトデ
ノ事マデ私ガ何カラ考ヘテヤラセルト云
フコトハ中村君要ラヌコトデアル、ソ
レハ發言權ガアルカラ勝手ニ仰シャル
ノモ宜イガ、サウ云フコトヲ以テ吾々
ヲ壓シ去ラウトスルナラバ考ガアル、
ソレハ實ニ失言ダト思フ、私ハソンナ
コトヲ以テ委員長ニ議事進行ヲ求メテ
居ナイノデアル

○本田委員長 海軍大臣ガ出席ニナリ
マシタカラ、此際……加藤君——加
藤サン、一寸待ッテ下サイ、海軍大臣
ガ……

○加藤委員 發言ヲ許シテ置イテ困
デハナイカ

○本田委員長 ソレデハドウゾ……

○加藤委員 只今中村君カラ枝葉末節
ノヤウナコトニト云フ議事進行ニ付テ
ノ御議論ガアリマシタガ、苟モ此法律
ノ條文ヲ一ツ抜キマシタラドウ云フコ

ウ云フコトハ御互ニ慎ミタイ、斯ウ云
フコトハ私ハ御答辯ヲ得ナクテモ宜シ
イガ、之ヲ加ヘル御考ガアルカドウカ、
是ハ茲ニ誰カ修正デモサレタラ賛成サ
レルダラウト思ヒマスガ、ドウデスカ、

既ニ出來テ居ルノデアリマス、法案ハ本日議會へ參リマシタガ、出來テ居ルノデアリマス、立派ナ道路ガ眼ノ前ニ……

○青木政府委員 御答ヲ致シマス、此

鐵道用地、軌道用地、運河用地、之ニ付

キマシテハ御承知ノ如ク法律ヲ以テ鐵道財團、軌道財團、運河財團等ヲ設ケルコトガ出來マシテ、一ツノ財團ヲ形造ル

ヤウナモノデアリマシテモ、其性質

ツノ營利事業デアリマシテモ、ソレガ

ハ大分異^ツテ居ル所ガアルト思フノデ

アリマス、只今加藤サンノ仰セニナリ

マシタ自動車ノ專用道路ト云フモノハ、成程現在ゴザイマス、ケレドモソレ

ガ今度鐵道省、内務省等ニ於テ御計畫ニナッテ居リマスヤウニ、此自動車ノ專

用道路ト云フモノヲ一ツノ財團ニスル

コトヲ認メテ、サウシテ國家ノ法制ト

シテ鐵道用地、軌道用地、若クハ運河用

地ト同ジャウナ取扱ヲスルヤウニナリ

マスレバ、之ノ免租ニ付テモ相當考慮スル考デアリマスガ、單ニ事實上自動

車專用道路ガアルト云フダケノ事ヲ以チマシテ免租ヲスルト云フ考ハ、只今

ノ所持リテ居ラナイノデアリマス

○加藤委員 サウ云フ三百的ノ理窟ヲ言ハレ、バ私モ亦言フ、是ハマダ財團ニナッテ居ラヌガ故ニ、事實出來テ居テモ、サウ云フモノハ此免稅ノ中ニ入

レナイ、然ラバ公衆用道路ト云フモノハ何處ニ財團ガ出來テ居ルノデアリマス、サウ云フ理窟ハ御廢シナサイ、併シ

キマシテハ御承知ノ如ク法律ヲ以テ鐵道

財團、軌道財團、運河財團等ヲ設ケルコトガ出來マシテ、一ツノ財團ヲ形造ル

ヤウナモノデアリマシテモ、其性質

ツノ營利事業デアリマスケレドモ、併

ハナイト考ヘマス、ソレデ鐵道デアル

トカ、軌道デアルトカ云フモノハ、一ツ

ノ營利事業ニハアリマスケレドモ、併

ナガラ是等ハ公衆ノ利益ヲ目的トスル

モノデアリマスカラ、國家ノ法制ヲ以

進ミマスレバ、之ニ對シテ免稅ヲスル

ト云フ規定ガゴザイマス、隨テ此鐵道

テ一ツノ財團モ作リ得ルヤウナ程度ニ

モノデアリマスレバ、之ニ對シテ免稅ヲスル

ト云フ規定ガゴザイマス、隨テ此鐵道

ニナッテ居リマスヤウニ、此自動車ノ專

用道路ト云フモノヲ一ツノ財團ニスル

只今申上ゲマシタヤウニ自動車專用道

ニナッテ居リマスヤウニ、此自動車ノ專

用道路ト云フモノヲ一ツノ財團ニスル

只今申上ゲマシタヤウニ自動車專用道

ニ於テ營利ノ事業デアリマスガ故ニ、ザイマス

此自動車專用道路モ當然同様ノ性質ヲ

持^ツテ居リマシテ、財團ナド、云フコト

公衆用道路ニハ財團ガ出來テ居ルト云

フナラバ承リタイノデアリマス

今申上ゲマシタヤウニ公衆用道路ト云

ルヲ左様ナ理窟ヲ言ハレル、此前私ガ

質問シタ時ニ率直ニ御答ニナリマシタ

ハナイト考ヘマス、ソレデ鐵道デアル

トカ、軌道デアルトカ云フモノハ、一ツ

ノ營利事業ニハアリマスケレドモ、併

ナガラ是等ハ公衆ノ利益ヲ目的トスル

モノデアリマスレバ、之ニ對シテ免稅ヲスル

ト云フ規定ガゴザイマス、隨テ此鐵道

テ一ツノ財團モ作リ得ルヤウナ程度ニ

モノデアリマスレバ、之ニ對シテ免稅ヲスル

ト云フ規定ガゴザイマス、隨テ此鐵道

ニナッテ居リマスヤウニ、此自動車ノ專

用道路ト云フモノヲ一ツノ財團ニスル

只今申上ゲマシタヤウニ自動車專用道

ニナッテ居リマスヤウニ、此自動車ノ專

用道路ト云フコトニ付テモ、今鐵道省、内務省、大藏省トノ間ニ於テ相談中デゴザ

カ、或ハ地租法ヲ改正致シマスカト云

ルヲ左様ナ理窟ヲ言ハレルナラバ、ソレ

ハ、其自動車ノ專用道路法案ノ中ニ地

租ヲ免租スルト云フ規定ヲ設ケマス

○青木政府委員 私ガ只今申上グルノ

ルヲ左様ナ理窟ヲ言ハレルナラバ、是カラ

ハ、其自動車ノ專用道路法案ノ中ニ地

租ヲ免租スルト云フ規定ヲ設ケマス

○青木政府委員 私ガ只今申上グルノ

ルヲ左様ナ理窟ヲ言ハレルナラバ、是カラ

ハ、其自動車ノ專用道路法案ノ中ニ地

租ヲ免租スルト云フ規定ヲ設ケマス

○青木政府委員 得ルヤウニナル、サウシテ鐵道用地ヤ

○青木政府委員 軌道用地ト同ジャウナ地位ニ進ミマシカ

○青木政府委員 夕際ニ於テハ、免租ト云フコトニ付テ

十分考慮致シタイト思^ツテ居リマス

○加藤委員 ドウモ議事ヲ速ニ進マセ

タイト思ヒマスガ、政府委員ガ一々三

百的ノ理窟ヲ言ハレマスガ故ニ、私モ

ニ於テ營利ノ事業デアリマスガ故ニ、ザイマス

此自動車專用道路モ當然同様ノ性質ヲ

持^ツテ居リマシテ、財團ナド、云フコト

公衆用道路ニハ財團ガ出來テ居ルト云

フナラバ承リタイノデアリマス

今申上ゲマシタヤウニ公衆用道路ト云

ルヲ左様ナ理窟ヲ言ハレルナラバ、是カラ

ハ、其自動車ノ專用道路法案ノ中ニ地

租ヲ免租スルト云フ規定ヲ設ケマス

○井上國務大臣 只今政府委員カラ申

シマシタ如ク加藤君ノ言ハレルヤウニ

段々殖エテ來テ、今私ガ記憶シテ居ル

所デハ、今大藏省ニ在ルノガ全國デ一

ツダト考ヘテ居リマスガ、サウ云フ大

鐵道用地、軌道用地トノ權衡ガ取レル

勢ガ出テ參リマシテ、政府委員モ言フ

如ク鐵道用地、其他ノ釣合ヲ取リマシ

テ、左様ナコトハ出テ參ルベキ性質ノ

モノト思フノデアリマスガ、只今必ズ

ガ當然デアルガ、尙ホ考慮スルト云フ

ノハドウ云フ譯デアルカ、是ガ均衡ガ

取レヌト云フノハドウ云フ譯デスカ

○加藤委員 同様ノ性質ノモノデアル

カラ、議會ガ通過スレバ免租サレルノ

ガ當然デアルガ、尙ホ考慮スルト云フ

ノハドウ云フ譯デアルカ、是ガ均衡ガ

取レヌト云フノハドウ云フ譯デスカ

○加藤委員 持^ツテ居リマシテ、財團ナド、云フコト

公衆用道路ニハ財團ガ出來テ居ルト云

ルヲ左様ナ理窟ヲ言ハレルナラバ、是カラ

ハ、其自動車ノ專用道路法案ノ中ニ地

租ヲ免租スルト云フ規定ヲ設ケマス

○加藤委員 之ニ對スル大藏大臣ノ御

答辯ヲ願ヒマス

○井上國務大臣 只今政府委員カラ申

シマシタ如ク加藤君ノ言ハレルヤウニ

イ、而シテ私ハ單價ハ實ハ承ッテ居ラナ
イ、是ハ何故デアルカ、海軍ニ同情ヲ持
テ居ルカラデアル、實ハ私ダッテ船ノ
コトニ素人デハナイ、豫算總會以來分
科會ヲ經、幾度御目ニ掛テッモ、各艦ノ
單價何程カト云フ數字ハ未ダ一言モ聽
イテ居ラナイ、聽ク必要ノアルコトハ
萬承知シテ居ル、今マデ年度割ヲ聽ク
ニ當ッテハ、船ノ單價何程カト聽イテ、
ソレカラ艦船製造豫定表ヲ聽イテ、ソ
レカラ年度割幾ラニナルカト聽クノハ
是ハ順序デス、併ナガラ其單價ヲ聽カ
ナイト云フコトハ、雷ニ安保海軍大臣
ノミナラズ、經理局長ニ於カレテモ、又
ハ後年度ドナタガ造ルニシテモ、一旦
巡洋艦一噸二千九百二十二圓驅逐艦三
千九百二圓、潛水艦四千四百六十圓幾
ラト云フヤウナ細カイ單價マデ此處デ
明カニシテシマッタナラバ、民間ヘ軍艦
ヲ註文スル時ニ、其當事者ガ駆引上御
困リニナルト私ハ信ジテ、聽クベキ必
要ハアルケレドモ、其處ハ武士ハ相見
互デ遠慮シテ居ツタ、其邊ノコトヲ海軍
大臣ハ御考ヘニナラナイカ、私ハ時ニ
激越ノ語ヲ發スルコトモアリマスケレ
ドモ、ソレハ答辯スベキモノヲ答辯シ
ナカツタリ、或ハ驚ラ鳥ト仰シヤルカ
ラ、時ニ激越ノ口調ヲ用フルコトハア
ルケレドモ、大體ニ於テ海軍ヲ思フノ
餘リノ熱情デアル、單價ノコトニ付テ

ハ、前内閣若槻内閣ノ時ノ海軍大臣財
部大將ニ向ッテハ、私ハ今製造シテ居ル
高雄級一噸何程カト云フコトヲ第一ニ
質問シテ居ル、今日海軍部内ノ様子ヲ
知ッテ居ル私トシテハ、此單價ヲ議會デ
質問スレバ答辯シナケレバナラヌ、答
辯スレバ後デ註文スル時ニ工合ガ惡カ
ラウト云フ、斯ウ云フ誠意ヲ以テ質問
シテ居ルノニ、親ノ心子知ラズカ、子ノ
心親知ラズカ知ラズガ、言ヲ左右ニ託
シテ、答辯スベキモノニ答辯シナイデ、
唯其場限リニ答辯ヲ「カムフラージ」ス
ル爲ニ單價ヲ御讀上ゲニナルニ至ッテ
ハ、甚ダ誠意ヲ缺クモノトシテ、深ク遺
憾ノ意ヲ表シテ置ク次第アリマス
是カラ質問ニ入リマス、サウスルト
斯ウ云フ事ヲ承リタイ、單價ガ私ハ聽
キタクナカッタケレドモ明カニナッタ、
明カニナッタ以上ハ其單價ニ付テ論ジ
ナケレバナラヌ、單價ガ明カニナッタ以
上ハ、巡洋艦ガ噸二千九百二十二圓、驅
逐艦、潛水艦、敷設艦、ソレト御言明
ニナッタ、サウスルト即チ巡洋艦八千五
百噸級ガ約二千五百萬圓ト云フコトニ
遂艦、潛水艦、敷設艦、ソレト御言明
ニナッタ、サウスルト甚ダ遺憾デアリマスカラ、ソ
レト行キマスガ、サスレバ巡洋艦、驅
逐艦、潛水艦、敷設艦ノ各艦種ニ瓦ツテ、
レデ噸單價ヲ明カニシ、ソレヲ此度ノ
單價ヲ斯ウ明カニ御出シナスッタ以上
ハ、即チ先づ巡洋艦ニ付テ、八千五百噸
ト云フコトガ明カニナリマスカラ、ソ

レデ今日ソレヲ申上ゲマシタ次第デア
リマス
ソレカラ一ツノ艦ニ付テノ製艦費ノ
其内容ニ付テノ事ハ、是ハドウ云フ程
度ニ申上ゲラレマスカ、一ツ政府委員
会ラズ…(内田委員「是ガ分ラナケレバ
其單價ガ出ル譯ガナイ」)其單價ノ内容ヲ
ドノ程度マデ御話シテ宜イカ、尙ホ能
ク調ベマシテカラ御話申上ゲマス
○安保國務大臣 内田サンカラ段々御
話ガアリマシタガ、其一番最初ノ、私ガ
民政黨ノ幹部三名カラ壓迫ヲ受ケテ言
ヲ左右ニシタト、斯ウ云フ御話アリ
マシタケレドモ、是ハ私神明ニ誓ッテ、
サウ云フ話ヲ少シモ耳ニ入レタ事モ何
モ無イト云フコトヲ茲ニ申上ゲテ置キ
マス
○内田委員 ソレデハ午後ニ願ヒマス
——サウスルト委員長、其點ダケラ
後ニ廻シテ他ノ問題へ這入ッテ宜シウ
ガアルノデスカラ——質問ガアルト言
ゴザイマスカ、ソレトモ私ハマダ質問
タラ大層厭ナ顔ヲナサルコトハナイ(笑
ソンナ厭ナ顔ヲナサルコトハナイ(笑
聲)ドウシマセウカ
○内田委員長 質問ニ御入リニナッテ
宜シウゴザイマス
「休憩々々」「モウ十二時ヲ過ギテ
居ル」と呼フ者アリ
○本田委員長 ソレデハ一時マデ休憩
致シマス

午後三時十分開議
○本田委員長 休憩前ニ引續キ開會致
シマス、報告ガアリマス
本日理會ヲ開キマシテ此委員會ノ
進行ヲ諸ツタノデアリマスガ、二十七日

中ニ質問ヲ終了シ、二十八日ニ討論ヲ致シマシテ、此委員會ヲ終結スルト云
フコトニ一致イタシ、決定ニナリマシテハ質問者モ答辯者モ成ベク簡潔率直ニ質問應答セラレテ、多數ノ質問者ヲ満足セシメルヤウナ結果ヲ得タイト考
ヘマス、之ヲ希望トシテ申上ゲテ置キ

○高橋委員 只今ノ御宣言中ニ二十七日中ニ質問ヲ終了致シ、二十八日ニ討論ヲ終局ヲシテ委員會ヲ終了スル趣ノ話デアリマシタガ、二十八日ニ討論ヲ終局スルト云フコトハ、二十八日中ニ討論ヲ終局スルト云フコトデアリマシテ、御趣意ハ二十八日ノ午後ノ十二時迄ヲ含ムコトナリト了解ヲ致スコトニ承知致シテ宜シイノデアリマスカ

○本田委員長 二十八日ノ終リ迄ハ二十八日ノ中ニ含ミマス

○安保國務大臣 先程内田サンカラ御尋ノアリマシタ軍艦ノ値單價ノ内容、即チ其算出ノ基礎ヲ示スヤウニト云フコトデアリマシタノデスガ、是ハ御承知ノ通リ船體、機關、兵器其他ノ費用ニ分レテ居リマスノデアリマスルガ、船體費ノ方ハ其構造上防禦力ト云フヤウナ事ニ關係ヲ持チマシテ、其防禦力ノ内容ニ依ッテ定マリマス次第モアリマスルシ、又機關費ノ方ハ其運動力、即

チ艦艇ノ速力馬力ト云フヤウナコトニアリマス、又兵器費ノ方ハ其兵装ノ如

何ニ依ル、斯ウ云フヤウナ次第デアリマスカラ、サウ云フモノニ依ッテ算出シ

得ラレマスルト云フコトハ、是ハ内田サンノ疾クニ御承知ノ通リデアリマス

致シマスト云フコトハ、取モ直サズ艦艇ノ稍其内容ニ瓦リマシテ、攻撃力、

及ボシマス次第デアリマシテ、海軍ト致シマシテハ軍機ニ瓦ルト云フヤウナ

意味デ、此點ハ申上ゲ兼マス次第デアリマスカラ、結果先程内田サンモ御心配ニナリマシタ順單價ヲ示スノハ、ド

ウモ餘程考ヘモノデハナカタカト云フ御心配ガアリマシタ、即チ其御心配ノ意味デアリマシテ、其内容ニ瓦ツテ細カク申上ゲルコトハ、今ノヤウナ事情

デ申上ゲ兼ネル次第デアリマスカラ、左様御諒承ヲ願ヒタイ

○内田委員 只今委員長ヨリ理事會ノ結果ヲ御報告ニナリマシテ、吾々ノ質維持費ノ結論ニ行ッテ居ナイノデスカ

間ハ明日中、討論ハ二十八日中、斯ウ云ラ、マダ第一ガ濟ンデ居ナイ、即チ第六

フコトニ決定致シマシタコトニ付キマ卷マデアルノガ第一卷ノ終リマデニマ

ダ一ガ半分シカ實ハ濟ンデ居ナイノデ

アリマス、即チ維持費ガ第一ノ問題、其

ナカニシテ吳レト云フコトヲ御請求申上ゲタ、ソレヲ御引受ニナッテ御歸リニ

ナツタガ、只今ソレハ御説明出來ヌト云

フ御話デアル、私ハ之ニ付テ又昨日ノ上ゲタ、ソレヲ御引受ニナッテ御歸リニ

ヤウニ質問應答ヲ重ネマシタナラバ、實ニ私ハ有體

ナカニシテ吳レト云フコトヲ御請求申上ゲタ、ソレヲ御引受ニナッテ御歸リニ

ナツタガ、只今ソレハ御説明出來ヌト云

フ御話デアル、私ハ之ニ付テ又昨日ノ上ゲタ、ソレヲ御引受ニナッテ御歸リニ

ナツタガ、只今ソレハ御説明出來ヌト云

フ御話デアル、私ハ之ニ付テ又昨日ノ上ゲタ、ソレヲ御引受ニナッテ御歸リニ

ナツタガ、只今ソレハ御説明出來ヌト云

フ御話デアル、私ハ之ニ付テ又昨日ノ上ゲタ、ソレヲ御引受ニナッテ御歸リニ

ナツタガ、只今ソレハ御説明出來ヌト云

ノ艦艇製造費ノ繼續費ト、而シテ補充計畫ノ艦船製造豫定表、昨日祕密會ノ問題トナッタ之ノ單價ヲ掛ケテ計算シテ行キマスト、貴族院ニ於テ目下審議中ノ昭和六年度ノ此補充計畫ノ繼續費ト全ク矛盾撞著デ、結局是ハ一致シナイ、昭和六年度ノ豫算ト既ニ昭和六年度ニ著手スベキ艦艇ト潛水艦トニ於テ相違ガアルト云フコトハ昨日ニ於テ明カニナリマシタ、七年度、八年度、九年度、十年度、十一年度トヤツテ行クト、全ク繼續費ト豫定艦船ノ製造費トハ全ク喰違フテ矛盾ヲ來シテ居リマス、併シ之ヲ一々算盤ヲ採ツテヤツタ日ニハ、明日迄ノ時間ヲ外ノ人ノ質問權ヲ蹂躪スルノデ、殊ニ大口サンナゾ頻ニ御急ギノヤウデアリマスカラ、私ハ茲ニ相違ガアルト云フコトヲ私ハ責任ヲ以テ言明スルト共ニ、斯ウ云フ相違ガナイト云フコトナラバ、政府ニ於テ相違ガナイト云フコトヲ、明日デモ宣ウゴザイマスガ數字ヲ以テ明確ニ御示シアランコトヲ御願致シマス、次ニ昨日此議場ニ於テ問題トナッタ、即チ昭和六年度ノ豫算ニ示サレタル艦艇製造費ト、此補充計畫ニ第一步ヲ印シタル昭和六年度ニ著手スペキ艦艇ト潛水艦ニ於テ、二隻ノ相違ヲ來シテ居ルト云フコトガ明カニナッテ、海軍大臣ハ率直ニ御取消ニナタ、私モ亦率直ニ之ヲ承認シタ、取消

シタノデ此上私ハ更ニ追窮ヲシテ居ラナイ、然ルニ今朝ノ新聞ニ依リマスト、其他ノ調節ヲスルト云フ意味デアリマス、ソレカラ第二ノ御尋ノコトニ付キマ出テ居ルニ於テハ、ヤハリ海軍省ニ於テハ——政府ニ於テハ此違フタ二隻ハ御辯明ノ通リ、新聞紙ノ傳フル如クハ御辯明ノ通リ、新聞紙ノ傳フル如クヤハリ部外註文ヲ敢テシテ、豫算ニ於テハ一隻デアルガ、製造ニハ三隻著手スルト云フ意思ヲ尙ホ持ツテ居リマス改ムルニ憚ル勿レデ、補充計畫ノ昭和六年度ニ内田委員「一艘ニスルノデスカ、三艘ニスルノデスカ」豫算ノ上ハスルト云コトヲ単上ダマシタノデ、此カ、ソレトモ誤レルヲ知ッテ、所謂過ヲテハ一隻デアルガ、製造ニハ三隻著手スルト云フ意思ヲ尙ホ持ツテ居リマスカ、ソレカラアリマスガ、是モヤハリ希望トシテ三艘ニスルト云フ意味ノコトノ下ニ、是ハ豫算ト合フヤウニ一隻ニ改ムルニ憚ル勿レデ、補充計畫ノ昭和六年度著手ノ潛水艦三隻ハ、昨日海軍大臣ノ御辯明通リ取消シタト云フ一言ノヤ否ヤ、新聞ヲ見ルト世人ノ誤解ヲ招キマスカラ之ヲ端的ニ御伺ラスル次第デアリマス

○安保國務大臣 御答致シマス、第一ノ内田サンノ御尋ニ對シテ昨日御説明ヲ致シマシタ線表——線表ト云フト又云フコトナラバ、政府ニ於テ相違ガナイト云フコトヲ、明日デモ宣ウゴザイマスガ數字ヲ以テ明確ニ御示シアランコトヲ御願致シマス、次ニ昨日此議場ニ於テ問題トナッタ、即チ昭和六年度ノ豫算ニ示サレタル艦艇製造費ト、此補充計畫ニ第一步ヲ印シタル昭和六年度ニ著手スペキ艦艇ト潛水艦ニ於テ、二隻ノ相違ヲ來シテ居ルト云フコトガ明カニナッテ、海軍大臣ハ率直ニ御取消ニナタ、私モ亦率直ニ之ヲ承認シタ、取消シタノデ此上私ハ更ニ追窮ヲシテ居ラナイ、然ルニ今朝ノ新聞ニ依リマスト、其他ノ調節ヲスルト云フ意味デアリマス、ソレカラ第二ノ御尋ノコトニ付キマ出テ居ルニ於テハ、ヤハリ海軍省ニ於テハ——政府ニ於テハ此違フタ二隻ハ御辯明ノ通リ、新聞紙ノ傳フル如クハ御辯明ノ通リ、新聞紙ノ傳フル如クヤハリ部外註文ヲ敢テシテ、豫算ニ於テハ一隻デアルガ、製造ニハ三隻著手スルト云コトヲ単上ダマシタノデ、此カ、ソレカラアリマスガ、是モヤハリ希望トシテ三艘ニスルノデスカ、三艘ニスルノデスカ」豫算ノ上ハスルト云フ意思ヲ尙ホ持ツテ居リマス改ムルニ憚ル勿レデ、補充計畫ノ昭和六年度ニ内田委員「一艘ニスルノデスカ、三艘ニスルノデスカ」豫算ノ上ハスルト云フ意思ヲ尙ホ持ツテ居リマスカ、ソレカラアリマスガ、是モヤハリ希望トシテ三艘ニスルト云フ意味ノコトノ下ニ、是ハ豫算ト合フヤウニ一隻ニ改ムルニ憚ル勿レデ、補充計畫ノ昭和六年度著手ノ潛水艦三隻ハ、昨日海軍大臣ノ御辯明通リ取消シタト云フ一言ノヤ否ヤ、新聞ヲ見ルト世人ノ誤解ヲ招キマスカラ之ヲ端的ニ御伺ラスル次第デアリマス

○安保國務大臣 御答致シマス、第一ノ内田サンノ御尋ニ對シテ昨日御説明ヲ致シマシタ線表——線表ト云フト又云フコトナラバ、政府ニ於テ相違ガナイト云フコトヲ、明日デモ宣ウゴザイマスガ數字ヲ以テ明確ニ御示シアランコトヲ御願致シマス、次ニ昨日此議場ニ於テ問題トナッタ、即チ昭和六年度ノ豫算ニ示サレタル艦艇製造費ト、此補充計畫ニ第一步ヲ印シタル昭和六年度ニ著手スペキ艦艇ト潛水艦ニ於テ、二隻ノ相違ヲ來シテ居ルト云フコトガ明カニナッテ、海軍大臣ハ率直ニ御取消ニナタ、私モ亦率直ニ之ヲ承認シタ、取消シタノデ此上私ハ更ニ追窮ヲシテ居ラナイ、然ルニ今朝ノ新聞ニ依リマスト、其他ノ調節ヲスルト云フ意味デアリマス、ソレカラ第二ノ御尋ノコトニ付キマ出テ居ルニ於テハ、ヤハリ海軍省ニ於テハ——政府ニ於テハ此違フタ二隻ハ御辯明ノ通リ、新聞紙ノ傳フル如クハ御辯明ノ通リ、新聞紙ノ傳フル如クヤハリ部外註文ヲ敢テシテ、豫算ニ於テハ一隻デアルガ、製造ニハ三隻著手スルト云コトヲ単上ダマシタノデ、此カ、ソレカラアリマスガ、是モヤハリ希望トシテ三艘ニスルノデスカ、三艘ニスルノデスカ」豫算ノ上ハスルト云フ意思ヲ尙ホ持ツテ居リマス改ムルニ憚ル勿レデ、補充計畫ノ昭和六年度ニ内田委員「一艘ニスルノデスカ、三艘ニスルノデスカ」豫算ノ上ハスルト云フ意思ヲ尙ホ持ツテ居リマスカ、ソレカラアリマスガ、是モヤハリ希望トシテ三艘ニスルト云フ意味ノコトノ下ニ、是ハ豫算ト合フヤウニ一隻ニ改ムルニ憚ル勿レデ、補充計畫ノ昭和六年度著手ノ潛水艦三隻ハ、昨日海軍大臣ノ御辯明通リ取消シタト云フ一言ノヤ否ヤ、新聞ヲ見ルト世人ノ誤解ヲ招キマスカラ之ヲ端的ニ御伺ラスル次第デアリマス

○内田委員 私ハハキリトシテ置キタリヲ致シテ置キマス

○内田委員 私ハハキリトシテ置キタリト云フノハ、答辯ヲ曖昧ニシテ置ケルカラシテ、一トシテ進ミタイト云フ考デ居リマスケレドモ、ソレダケ御斷リヲ致シテ置キマス

○内田委員 私ハハキリトシテ置キタリト云フノハ、答辯ヲ曖昧ニシテ置ケルカラシテ、一トシテ進ミタイト云フ考デ居リマスケレドモ、ソレダケ御断リヲ致シテ置キマス

○内田委員 基ダ事ガ明カニナッテ結構デアリマス、私ハ事ヲ明カニスルガ爲ニ斯ウヤツテ質問ヲシテ居ルノデアリマスガ故ニ、海軍大臣ガ率直ニ驚ヲ烏ト言ハナイデ、豫算ニ一艘ト書イテ

ノデアリマスカラ、職工ノコトモアリ
マセウガ、大事ナ法律案ヲ通過セシム
ル上ニ於テ、ソレニ必要ナル答辯ハ爲
サルノガ當然ダラウト私ハ思フ、言ハ
ヌト云フモノヲ私ガ其處へ出テ行ッテ
口ノ中ニ手ヲ入レル譯ニモ行カヌカラ
、ソレデハ例ノ問題ノ維持費ノ問題
ニ移リマス

昨日御發表ノ豫定表ニ依ルト一萬六
千三百噸結局ニ於テ増艦スルト云フコ
トニナツテ居リマス、サウスルト之ニ付
テ私ニ議論ガアリマス、昨日祕密會ニ
於テ申上グマシタ通り、廢艦ニナルノ
ガ潛水艦ノ如キ艦齡未ダ十一年ノモノ
ヲ既ニ昭和七年度カラ廢艦シテ計算シ
テアル、即チ廢艦スベカラザルモノヲ
廢艦スルト言フト語弊ガアリマスレ
バ、除籍ト申シテモ宣シイガ、是ハ専門
語デアルカラ素人解リノスルヤウニ廢
艦ト申シマス、更ニ之ヲ維持費ヲ無ク
テ一萬六千三百噸トナツテ居ルガ爲ニ、
海軍大臣ガ之ニ付テ艦齡外ノモノカラ
徐々ニ處分スルト言ハレタ御説明カラ
云ヘバ、此廢艦ハ新艦船維持費ノ上ニ
全ク減ルト云フコトニナルノデアリマ
スガ、一萬六千三百噸ノ増艦ト云フモ
ノハ、國民ハ全ク増艦スベキモノナリ
ト考ヘル、殊ニ昨日製造中ノ驅逐艦八

○内田委員 卽チ廢艦ノ數ニ於テ私ト
海軍大臣ト昨日祕密會ニ議論ヲ闘ハシ
テ、其ドチラノ議論ガ善イカ悪イカト
云フコトハ暫ク之ヲ別問題トシテ、此
海軍大臣ノ說ニ全部從ツテモ、尚且昭和
十一年度マデニ一萬八千噸ノ增艦トナ
ルノデアリマス、而シテ殖エルモノハ
何時殖エルカト云フト昭和六七年度ニ
僅ニ一萬噸級巡洋艦ト目下製造中ノ驅
逐艦ガ出來テモ、驅逐艦ハ出來タモノ
ダケ相當ニ古イモノヲ「スクラップ」シ
マスカラ、新艦ガ昭和六七年度ニ殖エ
ルモノハ、此艦齡一萬噸ガ四隻
出来テ來ルト云フノガ增艦ノ重大ナル
原因デアル、此殖エルト云フ原因ハ何
處ニアルカト云フト、昭和六七年度ニ
新艦ガ出來テ來ルカラデアル、廢艦ハ
ドウ云フ時ニ廢艦ニナルカト云フト、
テアル

○内田委員 サスレバ平均シテ一萬八
千噸ノ艦ガ殖エテ、新艦船維持費ヲ要求
スルモノハ六七年度カラ起ツテ來ル、サウ
スルト此維持費ニ付テハ大藏大臣ガ識ツ
テ御出シニナラナイノデ、イツモ海軍省
ト大藏省ノ間ニ喧嘩ニナルノデス、是
ハ要ルダケノ費用デアルカラ、内外ノ
大勢ニ應ジテ艦ヲ造ルトカ造ラヌトカ
云フ議論ト違ツテドノ位要ルト云フコ
トハ大體目安ガ付イテ居ル、而シテ廢
艦ニ屬スルモノト新艦ト差引シテ、噸
數デ計算シテ居リマスガ、維持費ト云
フモノハ噸對噸ノ差引ダケデハ海軍ハ
堪ラナイコトハ明カデアル、即チ今度
廢艦スル巡洋艦ノ利根トカ筑摩トカ云
本筋ト存ジマス

○内田委員 利根ハ昨年マデ警備
艦デアリマシタガ、第四豫備艦ニハナツ
テアル、サレバ結局一萬八千噸ノ增艦デ
アル、サレバ、而シテ其増艦ハ此昭和十一
年終リニ至リテ殖エルカ、初メニ行ツ
テ殖エカト云フト、昭和六年度ニ主ト
シテ殖エテ來ルト云フコトハ、御承認
テモ一萬八千噸ヲ増艦スルコトハ御承
認ニ相成ルヤ否ヤ

○安保國務大臣 御說ノ通リデアリマ
シテ殖エマスノハ八年、九年度デアリマ
ラ減リマスノハ八年、九年度デアリマ
カ

○安保國務大臣 御說ノ通リデアリマ
シテ殖エマスノハ六年、七年度、ソレカ
ラ減リマスノハ八年、九年度デアリマ
カ
四豫備艦ガ廢艦ニナツテ居ツテ、サウシ
テ重油ヲ焚イテ非常ニ金ガ要ル、高雄
級ガ出テ來ルノダカラ、高雄級ノ新艦
ノ一萬噸ト、第四豫備艦デ繫イデアル
一萬噸ト、差引シテ揃ヘテ、サウシテ頭
ヲ出シタゞケデ新艦船維持費ヲ計算ス
ルト云ハレテハ、海軍モ御困リダラウ
ト思フ、今後モ新艦船維持費ヲ御請求
ハ永遠ノ事ニ付テ海軍ノ爲ニ一應御尋
シテ置キタイト思ヒマス

○安保國務大臣 今ノ事柄ハ御說ノ通
リデアリマシテ、是ハ將來ニ互ツテドウ
シテモ馬力ト云フモノヲ加味サレナケ
レバナラヌコトハ明カデアリマス、噸
對噸並ニ馬力ヲ考慮ニ入レテヤルノガ
モノハ一萬馬力デアツタガ、此節ハ一萬
噸デ十三萬馬力モ出ルノデアルカラ、
同ジ一萬噸デモ十三倍モ馬力ガ違ツテ
居ル、富士ノ一萬噸ヲ廢艦ニシテ高雄
ノ一萬噸ヲ入レテ、十三萬馬力ト一萬

馬力デ噸對噸ト云フ譯ニハ行カナイ、
仍テ新艦船維持費ヲ論ズルニ當ツテ噸
ダケノ差引噸數ヲ御示ニナツタコトハ、
新艦船維持費ノ今後ノ所要額ヲ示ス上
ニ於テ半分ノ價值シカナイト云フコト
ヲ申上ゲテ置キマス、サスレバ噸數ダ
ケデ一萬八千噸達ツテ、而モ一萬八千噸
ト云フ噸數ガ昭和六年度七年度ニ殖エ
テ、サウシテ馬力カラ云ツタナラバ同ジ
一噸ニ對シテ十倍以上ノ馬力デアリマ
ス、其十倍以上ノ馬力ガ殖エテ、金ガ掛
ル艦ガ殖エテ來ル以上ハ此一萬八千噸
超過噸數ニ對スル新艦維持費ハ容易
ナラヌ額デアル、即チ一萬噸巡洋艦ノ
維持費ハ一噸二百圓デアリマスガ、古
テ居リマス、兎ニ角幾ラ無クテモ其位
ノ金ハ必要デアル、縱令其半額ノ百圓
ニシテモ一萬八千噸デアルカラシテ百
八十萬圓、ソレガ七年、八年、九年、十
年、十一年ト續ケバ九百萬圓、是ハ確實
ニ要ル、之ニ制限外艦艇ガ出テ來ル、斯
ノ如キ新艦船維持費ヲ如何ニシテ海軍
大臣ハ御安心ニナツテ居ルカ御尋スル
ノデアリマス

○安保國務大臣 新艦船維持費ヲ必要
トスルコトハ御説ノ通りアリマスル
ガ、今議會ニ於テ色々ノ機會ニ申上ゲ
云フモノ、中ニ入レテ、サウシテ此計
畫ヲ立テルニ付テ、航空隊ノ如キモノ
ハ是非其維持費ヲ伴ハナケレバ、其活
動力ヲ殺グノデ、ソレ等ハ完全ニ取ル
ト云フヤウナ關係モアリマス、又其以
テ云フ噸數ガ出來レバソレヲ行動セシ
ト云フコトハ、非常ニ困難デアリマスカ
ドモ、ソレ等ノ財源ヲ用意シテ居ルト
云フコトハ、非常ニ不確實ノヤウデ
アリマスケレドモ、從來ヤリ來ツテ居リ
マシタヤウニ、其都度年度々々ニ竣工
シタモノカラ大藏省ト交渉ヲシテ、若
干ヅ、デモ取ツテ行クヨリ他ニ方法ガ
無イト考ヘテ居リマス、尙又、只今全體
ニ於テ一萬八千噸ノ差ガアル、ソレガ
越シタコトハナインデアリマスケレド
ガ毎年ズウツサウナルト云フ御話デ
減ル年モアルノデアリマスカラ、ズット
累計シマスト多少違ヒマスガ、趣意ハ
テ居リマス、是ハ出來タモノニ對シ
モ、種々ノ狀況上從來其處マデ行ツテ居
ラヌ、今日モ今動イテ居リマスノヲ今
若干ヅ、デモ取リ得タモノト合セテ出
來ルダケノ方法ヲ執ル、斯ウ云フ考デ
アリマス

○内田委員 維持費ハ大藏省ノ主計局
ニ於テ御取リニナツテ居ツタト私ハ心得
テ居リマスガ、此點ニ付テハ同僚大口
君ニ讓ルコトニ致シマスガ、併シ此一
豫備艦ガ殖エテシマフカラ、隨テ教育
ノ目的アルカト云フコトハ亞米利加ノ
大勢ニ應ジナイデモ宜イノデアルカ
ラ、是ハ主管大臣タル海軍大臣ニ於テ
御目標ガアルコト、思ヒマスガ、最低
ドノ位ナラバ御幸抱ナサルノデアリマ
スカ

○安保國務大臣 是ダケ殖エルモノニ
對シテ最低ドノ位ト云フコトハ今此處
デハ御答申上ゲ兼ネルノデアリマシ
テ、毎年々々ノ狀況ニ應ジテ大藏省ト
折衝シテヤツテ行キマス、ズット其狀況
ヲサセルモノデアルカラ、阿武隈ト北
上トノ衝突ナドガ起ツタト云フコトハ
此前ニ申上ゲタ次第デアル、私ハ特ニ
スガ、新艦ガ出來レバソレヲ行動セシ
ムル爲ニ是ハ極メテ必要ナモノデアリ
ニ屬スルコトハ御遠慮申上ゲマスガ、
外ニ軍艦ノ新艦船維持費ト云フモノハ
全部取レルト云フコトニナツテ居リマ
スガ、内田君モ御承知ノ通リ、從來モ
ドモ、此上更ニ新艦ガ出來テ噸數カラソ
ニ持ツテ居リマスル維持費ノ中カラソ
シタモノカラ大藏省ト交渉ヲシテ、若
ニ全體ノ全部ヲ常備艦隊トセズニ、其中ノ或
モノハ豫備艦ニスル、或ハ警備艦ノ行
動ノ區域等ヲ調節スルト云フノデ、現
ニ持ツテ居リマスル維持費ノ中カラソ
シタモノカラ大藏省ト交渉ヲシテ、若
ニ全額ノ維持費ガ取レマスレバ、是ニ
ハ廢艦ト新艦ヲ差引イテ大擗ミニ擗ン
ダノデアリマスガ、是ハ調ベレバ分リ
増ニナリハセヌカト私ハ思ヒマス、是
ハ廢艦ト新艦ヲ差引イテ大擗ミニ擗ン
ダノデアリマスガ、是ハ調ベレバ分リ
増ニ依ツテ、然ラバ最低ドノ位要ル
ノ増ニ依ツテ、然ラバ最低ドノ位要ル
ルノデアルカト云フコトハ亞米利加ノ
大勢ニ應ジナイデモ宜イノデアルカ
ラ、是ハ主管大臣タル海軍大臣ニ於テ
御目標ガアルコト、思ヒマスガ、最低
ドノ位ナラバ御幸抱ナサルノデアリマ
スカ

今御話ノ一萬八千噸ノ不足トスウナル
ノデアリマスカラ、隨テ此處デ今日是
ダケアツタラドウニカ賄ヘルト云フヤ
ウナ數量ハ申上ゲ兼ネル次第デゴザイ
マス

○内田委員 然ラバ新艦船維持費ニ對
シテ、殖エルト云フコトダケハ御承知
デゴザイマセウ

○安保國務大臣 御說ノ通リデアリマ
ス

○内田委員 確ニ殖エルナラバ此處
頃數ガ分ツテ、馬力ガ分ツテ、而モ何時殖
エルト云フコトガ分ツテ居ルノデアル
カラ、其維持費ガ幾ラ要ルカト云フコ
トハ、壯ノ中ニハチヤント算盤ガ採レ
テ居ルコトハ明カデアルガ、今日ノ政
局ニ對シテ海軍大臣ガ言明出來ナイ位
置ニ在ルコトモ是亦私ハ諒トスル所デ
アリマス、幾ラ追窮シテモ言ヒハセヌ、
故ニ私ハ時間潰シニ追窮スルコトハ致
シマセヌガ、少クトモ新艦船維持費ガ増
加スルト云フ事ダケハ海軍大臣モ御承
認ニナツタコト、思ヒマス、サウスレバ
此處デ斯ウ云フコトニナツテ來ル、即チ
少クトモ此一萬八千噸ハ昭和六年度カ
ラ殖エテ來ル、此新艦船維持費ハ若干
保ガナイ、而シテ第二次補充計畫ハ先
般豫算總會ノ速記錄ニ明カナル如ク、
若干頭ヲ出スト云フコトヲ御言明ニナ
タス

ツテ、而シテ分科會ニ於テ權利ノ行使ニ
著手致ストスウ言ツテ、但書モ何モナク
打切ツテ居ル、兎ニ角第二次補充計畫ガ
シテ其第二次補充計畫ガ頭ヲ出ス理由

ハ、即チ海軍工廠ヲ維持スル積リデア
ル、維持スル爲ニハ、昭和十年度、十一
年度デ造船部職工ガ遊ブカラ、ソコニ
第二次補充計畫ガ頭ヲ出スト言ツタ、ソ
レデハドノ位ノ職工ガ遊ブノカト云ツ
テ、分科會デ質問シタラ、昭和十年、十
一年度ニ於テ九百六十萬圓位ノ工事ラ
ニエラト云フコトガ分ツテ居ルノデアル
カラ、其維持費ガ幾ラ要ルカト云フコ
トハ、壯ノ中ニハチヤント算盤ガ採レ
テ、分科會デ質問シタラ、昭和十年、十
一年度ニ於テ九百六十萬圓位ノ工事ラ
ニエラト云フコトガ分ツテ居ルノデアル
カラ、其維持費ガ幾ラ要ルカト云フコ
トハ、壯ノ中ニハチヤント算盤ガ採レ
テ居ルコトハ明カデアルガ、今日ノ政
局ニ對シテ海軍大臣ガ言明出來ナイ位
置ニ在ルコトモ是亦私ハ諒トスル所デ
アリマス、幾ラ追窮シテモ言ヒハセヌ、
故ニ私ハ時間潰シニ追窮スルコトハ致
シマセヌガ、少クトモ新艦船維持費ガ増
加スルト云フ事ダケハ海軍大臣モ御承
認ニナツタコト、思ヒマス、サウスレバ
此處デ斯ウ云フコトニナツテ來ル、即チ
少クトモ此一萬八千噸ハ昭和六年度カ
ラ殖エテ來ル、此新艦船維持費ハ若干
保ガナイ、而シテ第二次補充計畫ハ先
般豫算總會ノ速記錄ニ明カナル如ク、
若干頭ヲ出スト云フコトヲ御言明ニナ
タス

○内田委員 私ハ再三質問ヲ繰返シテ
來マシタガ、特ニ唯一言御斷リシテ私
ハ質問ヲ終リタイト思ヒマス、即チ海
軍大臣ガ再三答辯シテ居ツテ明カダト
云フ御答辯ノ中ニ、海軍大臣ハサウ仰
シヤラナカツタガ幣原首相代理ガ、此九
百六十萬圓ハ海軍大臣ガ抽象的ノ意味
ニ於テ唯職工ガ遊ブノハ幾ラカト内田
ニ聽カレタカラ、九百六十萬圓ノ職工
ガ遊ブノダト答ヘタノデ、第二次補充
計畫ガ若干頭ヲ出スト言ツテ答ヘタコ
トハ關係ガナイト云フコトヲ、豫算總
會ニ於テ御述ニナリマシタガ故ニ、私
ハ一言ソレニ付テ、私ガ分科會ニ於テ
應答シタニ三行ヲ讀上ゲテ此問題ヲ明
カニシテ置カウト思フノデアリマス、
豫算第四分科會ノ、二月十三日ノ三十
五頁ニアリマスガ、九百六十萬圓少ク
トモ昭和十年度、十一年度ニ於テ職工
ガ遊ブト云フコトヲ御言明ニナツタ、ソ
レニ對シテ私ガ「サウスルト、昭和十
年、十一年ニハ、新シイ計畫ガ現レル、
私ノ算盤デハ六千八百萬圓ニナルガ、
私ノ算盤デハ六千八百萬圓ニナルガ、
是ハ確ナ事デアリマス、故ニ新シイ第
二次計畫ハ此遊ブ「リヴエッター」ノ爲

テ海軍大臣ノ御意見ガアレバ承リマス
ガ如何デゴザイマスカ

○安保國務大臣 幾度カノ御質問ニ對
シテ御答シテ居ルヤウナ意味デアリマ
スカラ、改メテ別ニ申上ゲルコトモナ
シテ、第二次補充計畫ガ頭ヲ出ス理由
ハ切ツテ居ル、兎ニ角第二次補充計畫ガ
シテ其第二次補充計畫ガ頭ヲ出ス理由
ハ、即チ海軍工廠ヲ維持スル積リデア
ル、維持スル爲ニハ、昭和十年度、十一
年度デ造船部職工ガ遊ブカラ、ソコニ
第二次補充計畫ガ頭ヲ出スト言ツタ、ソ
レデハドノ位ノ職工ガ遊ブノカト云ツ
テ、分科會デ質問シタラ、昭和十年、十
一年度ニ於テ九百六十萬圓位ノ工事ラ
ニエラト云フコトガ分ツテ居ルノデアル
カラ、其維持費ガ幾ラ要ルカト云フコ
トハ、壯ノ中ニハチヤント算盤ガ採レ
テ居ルコトハ明カデアルガ、今日ノ政
局ニ對シテ海軍大臣ガ言明出來ナイ位
置ニ在ルコトモ是亦私ハ諒トスル所デ
アリマス、幾ラ追窮シテモ言ヒハセヌ、
故ニ私ハ時間潰シニ追窮スルコトハ致
シマセヌガ、少クトモ新艦船維持費ガ増
加スルト云フ事ダケハ海軍大臣モ御承
認ニナツタコト、思ヒマス、サウスレバ
此處デ斯ウ云フコトニナツテ來ル、即チ
少クトモ此一萬八千噸ハ昭和六年度カ
ラ殖エテ來ル、此新艦船維持費ハ若干
保ガナイ、而シテ第二次補充計畫ハ先
般豫算總會ノ速記錄ニ明カナル如ク、
若干頭ヲ出スト云フコトヲ御言明ニナ
タス

吐カナリ、十年、十一年ニ是レダケノ職
工ガ「アーデル」ニナルカラ、其他ニ若
干——幾ラデアルカ分ラヌケレドモ、
造機ヤ造兵ノ仕事ガ之ニ附加ハルト
承知シテ宜シウゴザイマスカ」トスウ
聽イタ、即チ九百六十萬圓ガ全部職工
ガ遊ブカラ、ソレニ對スル工事ヲ工廠
維持ノ爲ニ必要トスルト云フ御話ニ對
シテ、即チ第一次補充計畫ヲ、之ニ關聯
サシテ、第二次補充計畫ノ新シイ計畫
ガ其處ニ現レルノデハナイカト御尋シ
タラ、安保海軍大臣ハ「御說ノ通リデア
リマス」ト御肯定ニナツテ居リマス、ソ
シテ、即チ第一次補充計畫ヲ、之ニ關聯
サシテ、第二次補充計畫ノ新シイ計畫
ガ其處ニ現レルノデハナイカト御尋シ
タラ、安保海軍大臣ハ「御說ノ通リデア
リマス」ト御肯定ニナツテ居リマス、ソ
シテ、即チ第一次補充計畫ヲ、之ニ關聯
サシテ、第二次補充計畫ノ新シイ計畫
ガ其處ニ現レルノデハナイカト御尋シ
タラ、工廠ハ之ラ機能ヲ維持スル決心
ナリヤト言ツタラ、工廠ノ機能ハ維持ス
ル決心ナリ、今回解傭スル職工ヲ除
イテ其結果ニ於テ之ヲ維持スル、斯ウ
言フ、今ノ職工數デアリマセヌ、即チ今
カラ、工廠ハ之ラ機能ヲ維持スル決心
ナリヤト言ツタラ、工廠ノ機能ハ維持ス
ル決心ナリ、今回解傭スベキ職工ハ解傭スル、而シテ
回解傭スベキ職工ハ解傭スル、而シテ
其解傭残リノ職工ヲ維持スル決心ナ
リ、サウスルト十年十一年ニ於テ船體
部職工、即チ専門的ニ言ヘバ「リヴエッ
ター」ガ遊ンデ來ルデハナイカト言ツタ
ラ、其爲ニ第二次補充計畫ヲ其處ニ頭
ヲ出サセルト言ツタ、然ラバ其遊ブ「リ
ヴエッター」ハ金額ニシテ幾ラ遊ブカト
言ツタラ、九百六十萬圓遊ブト答ヘタ、
是ハ確ナ事デアリマス、故ニ新シイ第
二次計畫ハ此遊ブ「リヴエッター」ノ爲

ニ、工廠維持ノ爲ニ頭ヲ出ス、其金額ハ
 金圓ニ於テ積レバ少クトモ九百六十萬
 圓デ、船體部ダケノ仕事ト云フ譯ニ行
 カヌカラ、之ニ造兵造機ノ仕事ヲ伴フ
 ト云フコトヲ御認ニナツテ居ル、是ハ爭
 フベカラザル速記録ノ示ス所デアルカ
 ラ、最後ニ之ヲ一言附加シ、更ニ維持費
 ノ必要ガ御分リニナツタコトヲ以テ私
 ハ此質問ヲ終ルノデアリマスガ、長イ
 間私ハ各委員會、豫算總會ヲ通ジテ海
 軍大臣ト質問應答ヲ重ネマシテ、時ニ
 幾度モ陳謝シテ居リマスガ、非禮ノ言
 語ヲ發シタコトニ付テハ、海軍大臣初
 メ關係諸官一同ニ對シ謹ンデ陳謝ノ意
 ヲ表スルト共ニ、今後益々海軍ノ爲ニ御
 奮鬪アランコトヲ祈ツテ本員ノ質疑ヲ
 終ル次第デアリマス

○加藤委員 私ハ昨晚只今御提案ニナ
 ッテ居リマス 都市計畫法中ノ改正法律
 案ニ付テ質疑ヲ致シタ譯デアリマス
 ガ、當時殆ド御答辯ヲ得ナカッタ次第デ
 アリマス、私ハ只今ハ極ク簡單ニ御尋
 ヲ致シ、又適當な場合ニ御伺ヲスル積
 案ノ第十五條ニ「土地區劃整理ヲ施行
 シタル土地ノ貨貸價格ハ勅令ノ定ムル
 所ニ依リ之ヲ定ム」トアリマスガ、是ハ
 ドウ勅令ヲ改正サレル見込デアルカ、ソ
 リデアリマスガ、此都市計畫法ノ改正
 案ノ第十五條ニ「土地區劃整理ヲ施行
 外規定トシテ之ニ異ナル規定ヲ置ケル
 コトニナツテ居リマス結果、其一箇條ト
 貨貸價格ヲ定ムルニ付テハ勅令ヲ以テ
 規定シ得ル、斯様ニナツテ居ル條項デア

ルカ、此十五條ヲドウ云フ風ニ改正ス
 ルコトハ篤ト御承知ノコトデアリマ
 ルカト云フコトハ所謂都市計畫ニ直接
 關係ヲ持チ、區劃整理ニ重大ナル影響
 ヲ來ス、例ヘバ名古屋市ノ如キハ是ガ爲
 ニ區劃整理即チ都市計畫ト云フモノガ
 當ド全部停頓シ、隨テ都市計畫ト云フ
 コトガ完成ガ出來ナイト思ヒマスルガ
 故ニ、此事ヲ昨晚御尋致シタ譯デアッタ
 ノデス、大綱デ宜シウゴザイマス、又課
 長ガ見エテ居リマスレバ毫ニ幸デアリマ
 斯

○安達國務大臣 昨晚御尋ノ場合ニ此
 都市計畫ニ關スル主任ノ人ガ居リマセ
 ヌニ御答ヲ保留致シマシタコトヲ甚ダ
 遺憾ト思ヒマス、今日ハ參ツテ居リマス
 カラ其主任カラ御答サセルコトニ致シ
 マスガ、耕地整理法デ申シマスル第
 十四條ノ一項ニ整理施行ノ際ニ土地ノ
 開墾又ハ地目變換ガアリマシタ場合ニ
 ハ、耕地整理法ニ於キマシテハ民有地
 ズニ御答ヲ保留致シマシタコトヲ甚ダ
 總面積ノ二割以内デアリマスレバ、整
 理前ノ從前ノ地價其儘ヲ以チマシテ合
 計額ノ中ニ加算致シマシテ、配賦致シ
 マス、二割ヲ超エタ面積ニ付テノミ算
 出ニ付キマシテハ地價ヲ現況ニ應ジテ
 修正致シマシテ、ソレヲ總計額ニ加ヘ
 テ配賦ヲ致スト云フ規定ニナツテ居リ
 マスルノニ、都市計畫法施行令ノ方ニ
 於キマシテハ、即チ二十條ノ二項ノ規
 定ヲ置キマシテ、之ニ對スル例外規定
 ヲ置イテゴザイマス、即チ土地區劃整
 理ノ地價ノ配賦ニ付キマシテハ苟モ開
 墾又ハ地目變換ガアリマスレバ、全部
 工事完了ノ狀況ニ見マシテソレハ、大
 ト思ヒマス、我國ニ於テ耕地ヲ整理ス
 ル場合ニハ、是ハ食料品ヲ多ク收穫シ
 レトモ是ハ不合理デアルト云フノデア

ルカトハ篤ト御承知ノコトデアリマ
 ル、隨ヒマシテ此地價ヲ貨貸價格ニ改
 ハ、此點ニ於テハナイト云フ形ニナツテ
 ルコトハ御承知ノ通リデアリマス、
 居ルコトハ御承知ノ通リデアリマス、
 此點ハヤハリ今回ノ改正規定ニ於テ
 モ、即チ都市計畫施行令第二十條ノ當
 然要シマスル改正ニ於キマシテモ、現
 行通り存置ヲ致ス積リデアリマヌ、尙
 ホ二十條中ニ舉ゲテアリマスル條文ノ
 サンカラ御話ガアリマシタヤウデアリ
 マスガ、耕地整理法デ申シマスル第
 正ニ伴ヒマシテ都市計畫法ニ依ル施行
 令ノ區劃整理ニ付テノ改正ト致シマシ
 テハ左様ナ心組デ居ル次第デアリマ
 ス、以上ハ唯要點デアリマシテ尙ホ耕
 地整理法ノ規定ヲ準用スルコトニ付キ
 マシテ、所謂減租免期ノ問題ガアルヤ
 ウデアリマスガ、是ハ所謂課稅ニ最モ
 直接シタ問題デアルト存ジマスノデ、
 此點ニ付テ、區劃整理ニ關シテ如何様
 マシテハ極ク大綱ニ付テ御尋致シタイ
 ニスルカト云フ點ニ付キマシテハ、大
 藏省ノ方ヨリ御説明ガアルヤウデアリ
 マスカラ其方ニ讓ツテ置キタイト思ヒ
 マス

○加藤委員 私ハ本日ハ此問題ニ付キ
 貨貸價格ヲ定ムルニ付テハ勅令ヲ以テ
 規定シ得ル、斯様ニナツテ居ル條項デア
 ニ合算致シマシテ配賦ヲスル、即チ二
 得ルト云フ點ヨリシテ之ヲ非常ニ重キ

ヲ置キ、宅地ヲ整理スル、所謂區劃整理ニ對シテハ是ハ地主ガ唯自分ノ宅地ヲ良クシテ利得主義カラ來テ居ルモノデアルト云フ如キ立場ヨリ致シマシテ、之ヲ酷ニ取扱ッテアルノデアリマス、然ル所今回ノ提案自體ニ依ッテ見アルノデアリマス、又は適當ナル機会ニ御尋致シタイト思ヒマスガ、要スルニ都市計畫ト云フ頭ガ一層酷ナルモノガアルノデアリマス、又は適當ナル機会ニ御尋致シタイト思ヒマスガ、要スルニ都市計畫ト云フコトハ、近來ノ此國民ト致シマシテ、國家ト致シマシテ、非常ニ重大ナル事デアリマシテ、國家ガ都市計畫ニ自ラ著手致シ、若クハ市ガ著手致シマシタラバ、何億ト云フ金ガ要ル非常ナ重大ナル事ヲ、私ノ人等ガヤルト云フコトデアリマスカラ、交通ノ上ニ於テモ、衛生ノ上ニ於テモ、御承知ノ如ク有ユル方面ニ國家自體ガヤリ、若クハ市ガ土地區劃ノ整理ヲヤルノデアリマシテ、寧ロ是ハ助長獎勵シナケレバナラヌノニ、之ニ對シテ大藏省ガ酷ナル態度ヲ執ッタ云フコトハ、大藏省ハ私ガ昨日來申シマス如ク、何デモ稅金ヲ搾取スレバ宜イト云フ頭カラ來テ居ルノデアリマス、故ニ斯ウ云フ結果此提案ヲ見ルコトニナツタガ、是ハ内務省トシテハ當然全力ヲ擧ゲテ争ハナケレバナラヌ問題デアルニ拘ラズ、大藏省ニ讓ツタリ、何モ分ラズニ之ニ從ハレル、是ハ近來都市計畫ノ上ニ於

テ重大ナル錯誤ヲ來スモノデアル、先年東京市ニ於ケル大震火災ニ於キマシテ、是ガ眞ニ都市計畫デモ出來テ居リ、是ガ眞ニ都市計畫デモ出來テ居リ、ハ致ストシテ、又御意見モ伺ヒ、又農林部一方ニ復興三十億近クノ金ガ要リマシタナラバ、ア、云フコトハナイ、又アルノデアリマス、又は適當ナル機会ニ御尋致シタイト思ヒマスガ、要スルニ都市計畫ト云フ頭デ、アノ結果トシテ一方ニ復興三十億近クノ金ガ要リマシタナラバ、ア、云フコトハナイ、又アルノデアリマス、又は適當ナル機会ニ御尋致シタイト思ヒマスガ、要スルニ都市計畫ト云フコトハ、近來ノ此國民ト致シマシテ、國家ト致シマシテ、非常ニ重大ナル事デアリマシテ、國家ガ都市計畫ニ自ラ著手致シ、若クハ市ガ著手致シマシタラバ、何億ト云フ金ガ要ル非常ナ重大ナル事ヲ、私ノ人等ガヤルト云フコトデアリマスカラ、交通ノ上ニ於テモ、衛生ノ上ニ於テモ、御承知ノ如ク有ユル方面ニ國家自體ガヤリ、若クハ市ガ土地區劃ノ整理ヲヤルノデアリマシテ、寧ロ是ハ助長獎勵シナケレバナラヌノニ、之ニ對シテ大藏省ガ酷ナル態度ヲ執ッタ云フコトハ、大藏省ハ私ガ昨日來申シマス如ク、何デモ稅金ヲ搾取スレバ宜イト云フ頭カラ來テ居ルノデアリマス、故ニ斯ウ云フ結果此提案ヲ見ルコトニナツタガ、是ハ内務省トシテハ當然全力ヲ擧ゲテ争ハナケレバナラヌ問題デアルニ拘ラズ、大藏省ニ讓ツタリ、何モ分ラズニ之ニ從ハレル、是ハ近來都市計畫ノ上ニ於

テ重大ナル錯誤ヲ來スモノデアル、先年東京市ニ於ケル大震火災ニ於キマシテ、是ガ眞ニ都市計畫デモ出來テ居リ、是ガ眞ニ都市計畫デモ出來テ居リ、ハ致ストシテ、又御意見モ伺ヒ、又農林部一方ニ復興三十億近クノ金ガ要リマシタナラバ、ア、云フコトハナイ、又アルノデアリマス、又は適當ナル機会ニ御尋致シタイト思ヒマスガ、要スルニ都市計畫ト云フ頭デ、アノ結果トシテ一方ニ復興三十億近クノ金ガ要リマシタナラバ、ア、云フコトハナイ、又アルノデアリマス、又は適當ナル機会ニ御尋致シタイト思ヒマスガ、要スルニ都市計畫ト云フコトハ、近來ノ此國民ト致シマシテ、國家ト致シマシテ、非常ニ重大ナル事デアリマシテ、國家ガ都市計畫ニ自ラ著手致シ、若クハ市ガ著手致シマシタラバ、何億ト云フ金ガ要ル非常ナ重大ナル事ヲ、私ノ人等ガヤルト云フコトデアリマスカラ、交通ノ上ニ於テモ、衛生ノ上ニ於テモ、御承知ノ如ク有ユル方面ニ國家自體ガヤリ、若クハ市ガ土地區劃ノ整理ヲヤルノデアリマシテ、寧ロ是ハ助長獎勵シナケレバナラヌノニ、之ニ對シテ大藏省ガ酷ナル態度ヲ執ッタ云フコトハ、大藏省ハ私ガ昨日來申シマス如ク、何デモ稅金ヲ搾取スレバ宜イト云フ頭カラ來テ居ルノデアリマス、故ニ斯ウ云フ結果此提案ヲ見ルコトニナツタガ、是ハ内務省トシテハ當然全力ヲ擧ゲテ争ハナケレバナラヌ問題デアルニ拘ラズ、大藏省ニ讓ツタリ、何モ分ラズニ之ニ從ハレル、是ハ近來都市計畫ノ上ニ於

テ重大ナル錯誤ヲ來スモノデアル、先年東京市ニ於ケル大震火災ニ於キマシテ、是ガ眞ニ都市計畫デモ出來テ居リ、是ガ眞ニ都市計畫デモ出來テ居リ、ハ致ストシテ、又御意見モ伺ヒ、又農林部一方ニ復興三十億近クノ金ガ要リマシタナラバ、ア、云フコトハナイ、又アルノデアリマス、又は適當ナル機会ニ御尋致シタイト思ヒマスガ、要スルニ都市計畫ト云フ頭デ、アノ結果トシテ一方ニ復興三十億近クノ金ガ要リマシタナラバ、ア、云フコトハナイ、又アルノデアリマス、又は適當ナル機会ニ御尋致シタイト思ヒマスガ、要スルニ都市計畫ト云フコトハ、近來ノ此國民ト致シマシテ、國家ト致シマシテ、非常ニ重大ナル事デアリマシテ、國家ガ都市計畫ニ自ラ著手致シ、若クハ市ガ著手致シマシタラバ、何億ト云フ金ガ要ル非常ナ重大ナル事ヲ、私ノ人等ガヤルト云フコトデアリマスカラ、交通ノ上ニ於テモ、衛生ノ上ニ於テモ、御承知ノ如ク有ユル方面ニ國家自體ガヤリ、若クハ市ガ土地區劃ノ整理ヲヤルノデアリマシテ、寧ロ是ハ助長獎勵シナケレバナラヌノニ、之ニ對シテ大藏省ガ酷ナル態度ヲ執ッタ云フコトハ、大藏省ハ私ガ昨日來申シマス如ク、何デモ稅金ヲ搾取スレバ宜イト云フ頭カラ來テ居ルノデアリマス、故ニ斯ウ云フ結果此提案ヲ見ルコトニナツタガ、是ハ内務省トシテハ當然全力ヲ擧ゲテ争ハナケレバナラヌ問題デアルニ拘ラズ、大藏省ニ讓ツタリ、何モ分ラズニ之ニ從ハレル、是ハ近來都市計畫ノ上ニ於

機會ニ於テ又質疑ヲシ、又吾々ノ意見モ言ッテ、サウシテ大藏大臣ト論議ヲ交換致シタイト思ヒマスルガ故ニ、本日ハ此問題ニ付テハ之ヲ以テ私ノ質問ヲ止メマス

○鈴木政府委員 先刻私ヨリ御答辯申上ゲマシタ點ヲ更ニ補足致シテ申上げタイト思ヒマス、先刻申上ゲマシタヤウニ、今回ノ都市計畫法ノ、十五條ノ改正ニ伴ヒマシテ當然施行令ノ改正ヲ致スノデアリマシテ、其點ハ先程申上ゲマシタシタ耕地整理法第十四條一項ニ相當スル點ニ付キマシテハ先刻申上ゲマシタ通リ趣意ニ於テ現行通リノ規定ニ致シナガラ此點ニ付テハ從前ヨリ其通リニナツテ居ルノデアリマシテ、強チニ都市計畫ニ基ク所ノ土地區割整理ヲ耕地整理ヨリモ徒ラニ蔑ロニシテアル爲ニ斯様ナ差ガアルノデハナイト考ヘテ居リマス、サウ云フ次第デハナインデアリマシテ、此耕地整理及ビ區割整理ハ其目的上カラ申シマシテ、御承知ノ通り一方ハ農耕地ノ改良ガ目的デアリマスシ、區割整理ハ固ヨリ御話ノヤウニ、地主所有者ノ利益ニ於テ宅地ノ利用ヲ増進スル點ハ固ヨリゴザイマスケレドモ、都市計畫ノ眼目カラ申シマシテ、永久ニ福利ヲ増進スル、公共ノ利便ヲ圖ルト云フ大眼目ニ合致致シマスヤウ

ニ、宅地ノ利用ヲ改善致スノガ目的デアリマスノデ、個人ノ利益ト云フコトナ粗ヒ所カラ都市計畫ヲ實施致シテ居ルノデアリマシテ、其爲ニハ隨分多クシタ耕地整理法第十四條一項ニ相當スル點ニ付キマシテハ先刻申上ゲマシタウナ場合モ多々アルコト、心得テ居リマス、此爲ニハ或ハ低利資金ノ融通デアリマストカ、其他諸般ノ便宜ヲ供與致シ、百方獎勵助長ニ満腔ノ努力ヲ擧ゲマシテ努メテ居ル次第デアリマス、併只此十四條ノ一項ノ點ニ於キマシテハ、何分目的ガ宅地ノ改善ニアリマスノデ、區割整理ノ換地處分ノ結果ト致シマシテハ、民有地ノ殆ド全部ガ宅地ノデ、一面國家課稅上ノ立場モアリマスノト考ヘマスシ、此點ハ從前ノ規定ニ於モ止ムヲ得ズトシテ、寧ロ之ヲ適當ナリトシテ、斯ル差ガアル次第ト心得マス、隨ヒマシテ今回ノ改正モ其點ニ於キマシテハ從前通り同様ノ規定ヲ維持シテ行ク譯デアリマス、一言補足シテ置キマス

○加藤委員 都市計畫課長ガ縷々御述ルノデアリマス、耕地整理ノ方ニ於キマシテハ、目的上宅地ニナルノハ極メテ稀ナ場合ト考ヘラレマスノデ、開墾仕事ヲシテ居ル、ダカラアナタガ彼此又ハ地目變換ノ場合ニ於キマシテ、一レ仰シャラナクテモアナタガモウ少シ舉又ハ地目變換ノ際ニ於キマシテモ、シテ行ク譯デアリマス、一言補足シテ置キマス

○小川政府委員 二月ノ十三日ノ當委員會ニ於キマシテ、松谷君ノ質問ニ對シマシテ、私ノ答辯ガ言葉ノ不十分デアツタ爲メ誤解ヲ生ジタヤウデアリマスカラ、私ハ茲ニ其當時私ノ答辯シマシタ趣旨ヲ明ニ致シマシテ、言葉ノ不十分デアツタ所ヲ補足致シマシテ、誤解ヲ生ズルヤウナ點ヲ取消シテ置キマス、二月十三日當委員會ニ於テ松谷君ヨリ爲サレマシタ御質問ハ人絹織物ヲ木綿織物ト同等ニ取扱ッテ免稅スルコトガ國產品獎勵國產品輸出獎勵ト云フ見地カラ見テ宜シクナイカ、斯ウ云フコトデアリマシタノニ對シマシテ、私ハ斯ウ云フ風ナ趣旨デ答ヘタノデアリ

マス、租稅制度即チ租稅體系ヲ組織スルニ當リマシテ、負擔ノ公平ヲ圖ル爲ニ負擔能力ト云フ見地カラ見テ諸種ノ稅ヲ配合按配スベキデアリマスガ、同時ニ產業政策ヲ加味スルト云フコトハ勿論ノコトデアリマス、併シ今回ノ減稅案ハ負擔能力ト云フ見地カラ考察シテ立案シタモノデゴザイマシテ、輸出獎勵トカ、國產品獎勵トカ云フヤウナ產業政策ノ見地カラ立案シタモノデハアリマセヌ、斯ウ云フヤウナ趣旨ヲ申上ゲル積リデアッタノデアリマス、唯言葉ガ不十分デアリマシテ、誤解ヲ生ジマシタカラシテ、其不十分デアッタ所ヲ補ヒ、其誤解ヲ生ジタ點ヲ取消シマス、今ノ趣旨ニ違ツタヤウナ文句ガ現ハレテ居ル所ハ皆取消シマス

○井上國務大臣 只今ノ小川政務次官ノ松谷君ニ對スル答辯ト私ガ此減稅委員會ニ於キマシテ、度々各種ノ場合ニ申シマシタコト、多少ノ差異ガアリマシテ、岡田君カラ其點ニ付テ數回ノ御質問ガアツタノデアリマスガ、只今小川政務次官カラ申上ゲマスヤウニ、言葉シテ、只今申シマス點ニナリマスト、私ノ申シマシタコト、何等差異ハナイ、斯ウ云フコトニナル次第デアリマス、吾々ノ言葉ノ不十分ノ爲ニ數回ノ質問答ヲ重ねケレバナラヌヤウナ成行

○岡田委員 稽查ノ體系ヲ整ヘルニ付テハ負擔能力ヲ考へ各種ノ稅ノ均衡ヲ得ルヤウニ總テノ點ニ於テ考ヘル、斯ウ云フ御話デアリマシテ租稅ヲ作ル時ニハ各種ノ租稅其モノニ付テハヤハリ

ニ至リマシタコトハ、洵ニ遺憾至極デアリマシテ、私カラ此點ニ付テハ遺憾ノ意ヲ表シテ置キマス次第デアリマスガ、ドウモ私ハ少シキマシテ恐縮致シマス、唯一寸一言申上ゲテ置キタイノデアリマスルガ、租稅ノ體系ヲ整ヘルニ付テハ負擔ノ均衡ヲ得ルヤウニシタイト云フコトニ付テハ斯様デアリ、其次ニ何トカ仰シャタガ能ク分ラナカッタノデ念ノ爲ニモウ一遍伺ツテ置キタイノデアリマス

○小川政府委員 私ノ租稅制度ト云フコトヲ申上ゲマシタノハ、租稅體系ト云フヤウナ意味デ申上ゲタノデアッテ、云フヤウナ意處ニハ産業政策モ社會政策モ租稅體系ヲ組立テルト云フコトニナリマス時分ニハ其負擔ノ公正ヲ圖リマス

○岡田委員 ソレデハ租稅體系ヲ整ヘルト云フ時ニハ産業政策モ社會政策モ加味セズニ、唯負擔能力ノミニ依ッテ考ヘル、斯ウ云フノデアリマスカ

○小川政府委員 サウデアリマセヌ、爲ニ負擔能力ト云フ見地カラ見マシテ、色々ナ稅ヲ組合セマシテ、按配ヲシテ行クコトハ當然デアリマスガ、同時ニ産業政策ト云フモノヲ加味スベキモノデアルト、斯ウ云フコトヲ申上ゲタ

○岡田委員 租稅ノ體系ヲ整ヘルニ付ノデアリマス

○岡田委員 租稅ノ體系ヲ整ヘルノデアリマス

○岡田委員 私ハ租稅ノ體系ヲ整ヘル

産業政策社會政策ヲ加味スル、斯ウ云

租、或ハ營業稅、ソレトノ稅制其モノヲ按配スル、御化粧ヲシテ綺麗ニ飾ル

スガ、ソレハ唯形ヲ排列スルノミデア

リマシテ、各租稅々々ニ付テ、即チ此擔

置キマス、只今御鄭重ナル御挨拶ヲ戴

ス

アリマシテ、私カラ此點ニ付テハ遺憾ノ意ヲ表シテ置キマス次第デアリマスガ、ドウモ私ハ少シキマシテ恐縮致シマス、唯一寸一言申上ゲテ置キタイノデアリマスルガ、一寸頭ヲ加ヘルト云フコトニナルデアラウトキマシテ、私ノ意見ト同ジコトヲ言フノデアリマスカ、體系ヲ整ヘルヲ得ルヤウニシタイト云フヤウナ見地カラ入ッテ來ルモノハ相當アル、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、ダカラ

ガ惡イモノデスカラ分リマセヌ、ドウ

御話ガマダ分リマセヌデスガ、一寸頭

雛壇ヲ綺麗ニスルト云フコトデアリマ

スガ、ソレハ唯形ヲ排列スルノミデア

リマシテ、各租稅々々ニ付テ、即チ此擔

置キマス、只今御鄭重ナル御挨拶ヲ戴

ス

ト云フコトハ、一ツノ技術上ノ効キデ
アリマシテ、是ハ何モ意味ノナイモノ
ダト思フ、雛棚ニソレハ竝ベテアルノ
デアル、根本ハ即チ各種ノ税目ニ付テ、
之ヲ擔稅能力ニ依テヤルカ、或ハソレ
ニ産業政策ヲ加ヘントスルノデアリマ
スカ、詰リアナタノ仰シヤッタコトハ間
違ツテ居ルモノデアルト私ハ思フ、アナ
タ總テノモノヲ——租稅體系ヲ整ヘル
ト云フコトニ、マルデ總テノモノヲ一
緒クタニシテ居ルカラ分ラナイ

○井上國務大臣 私ハ此事柄ニ付テ

ハ、兩者ノ間ニ介在シテ居ル關係ガア
リマスカラ、私ガ兩者ノ意見ヲ疏通セ
シムルコトモ、一ツノ役目ト思ヒマス
カラ申シマスガ、體系ト云フ學問的ノ
言葉ヲ使ヒマスカラ、何ダカソコニ形
ト實質ト違フヤウナ氣ガ致シマスガ、
體系ト云フコトヲ除イテ或ル稅ヲ定メ
ル、斯ウ云フ場合ニハ、今ノ如キ擔稅能
力、ソレカラ例ヘバ今言フ産業政策、或
ハ社會政策、斯ウ云フコトガ總テ加味
サレテ、稅ト云フモノハ定リマスト、斯
ウ云フコトヲ言ッタラ岡田サンモ贊成
セラレルト思フ、小川君モソレニ何モ
異存ハナカラウト思ヒマスガ、體系ト
云フト何ダカ形式的ニ羅列スルヤウニ
ナリマスガ、サウ云フ意味デ小川君モ
申シタノデハ勿論ナイト思ヒマス、私
ノ考ヲ申シマシタコトデ、岡田サンガ

○岡田委員 マア其位ニシテ止シテ置
キマスガ、兎ニ角小川君ノ言フコトハ、
丁度私共ガ昔學校デ講義ヲ受ケタ、古
臭イ徹ノ生ヘタヤウナモノデアルト思
フ、一體租稅ノ原理原則ト云フモノハ、
一段々發達シテ居ルノデアル、成程昔ハ
出來ルダケ多ク取ツテ居ツタガ、ソレデ
ハイカヌト云フノデ、今度ハ應能主義
ノ原則ニ基イテヤッタ、ソレデモマダイ
カヌカラ、今度ハ產業政策モ加ヘル、社
會政策モ加ルヘト云フコトニナツテ居
ルノデアリマス、租稅ノ原理原則ハ遷
リ變ツテ來テ居ルノデアル、苟モ大藏省
ノ首腦部ニ居ル者ガ、古臭イ考ヲ有ッテ
居ルト云フノハ大キナ問達ヒダト思
フ、此意見ヲ述ベテ私ノ質問ハ終リマ
スガ、武田君ガ何カ之ニ關聯シテ質問
ガアルサウデスカラ、私ノハチヨット是
デ止メテ置キマス

○武田委員 關聯シタ事項ニ付テチヨ
ブト質問致シマス、私ハ此間カラ小川政
務次官竝ニ井上大藏大臣ノ御説明ヲ承
リ、今又小川サント井上サントヨリ御
協議ニナツタト云フ御意見ヲ承ツタガ、
マダ實ハハッキリ致サヌノデアリマス
ガ、私ノ疑問ヲ明カニスル爲ニ、井上大
ナル、即チ擔稅力ノ少イ者ニ少ク稅ヲ

賛成デアルナラバ、小川君ト私トハ此
トヲ申上ゲテ、ソレカラ御伺ヒ致シタ
コト、私ハ斯様ニ解シテ居ルト云フコ
トヲ申上ゲテ、ソレカラ御伺ヒ致シタ
コト、私ハ昨日來ノ質問應
答カラ考ヘマシテ、斯様ニ諒解ヲ致シ
キマスガ、兎ニ角小川君ノ言フコトハ、
丁度私共ガ昔學校デ講義ヲ受ケタ、古
臭イ徹ノ生ヘタヤウナモノデアルト思
フ、一體租稅ノ原理原則ト云フモノハ、
一段々發達シテ居ルノデアル、成程昔ハ
出來ルダケ多ク取ツテ居ツタガ、ソレデ
ハイカヌト云フノデ、今度ハ應能主義
ノ原則ニ基イテヤッタ、ソレデモマダイ
カヌカラ、今度ハ產業政策モ加ヘル、社
會政策モ加ルヘト云フコトニナツテ居
ルノデアリマス、租稅ノ原理原則ハ遷
リ變ツテ來テ居ルノデアル、苟モ大藏省
ノ首腦部ニ居ル者ガ、古臭イ考ヲ有ッテ
居ルト云フノハ大キナ問達ヒダト思
フ、此意見ヲ述ベテ私ノ質問ハ終リマ
スガ、武田君ガ何カ之ニ關聯シテ質問
ガアルサウデスカラ、私ノハチヨット是
デ止メテ置キマス

○井上國務大臣 只今ノ武田サンノ御
附加ヘナツタコトハ、色々宏遠ナ學理モ
其中ニ入ツテ居リマセウガ、現在此處ニ
御意見デアラウト思ヒマス、モウ一ツ
昨日小川政務次官ハ斯ウ云フコトヲ特
ニ言ハレタノデアリマスガ、產業政策
ハ今度ノ減稅ノ中ニハ加ヘナイ、但シ
社會政策ノ意味ハ加ヘテ居ル、併シ社
會政策ト云フモノモ、擔稅力ヲ主トシ
テ見ルト、應純主義モ、是ハ同一ノモノ
ヲ兩面カラ見ルト同ジヤウナモノデア
リ、成タケ多數ノ人ノ一般ノ使用スル
ヤウナ織物ノ如キハ、成タケ無稅ニス
ルコトヲ努メマシテ、提出シテ居ル案
ニ其處ガ入ツテ居リマス、其處ガ所謂社
會政策デアリマス、ソレナラバ產業政
策ヲ大イニ加味シテヤッタカト申シマ
スト、例ヘバ人絹ノ如キニシロ、色々ノ
モノニ致シマシテモ、今度ハサウ云フ

所ニ及ブ餘裕ガアリマセヌノデ從來用ヒタ産業政策ハ其儘ソックリ、吾々ハ遵奉シテソレヲ少シモ變ヘマセヌデシタト云フコトニナルノデアリマス、色々ナ兩面カラ見タト云フヤウナ意味モアリマスカ知リマセヌガ、併シ實際問題トシテハサウ吾々ノ解釋ヲ御理解下サ

テ差支ゴザイマセヌ

○武田委員 今大藏大臣ノ御説明ニ依ルト、私ノニツニ別ツテ御尋致シマシタ

第一點ハ其通リデ宜シトイト云フ御説明デアリマシタ、第二ノ擔稅能力ヲ主トシテ租稅ノ變革ヲスル場合ニ於テハ、社會政策ハ一致スルカドウカト云フ點

アリマスガ、是ハ小川政務次官ハ一昨日力ヲ極メテ其點ヲ仰シヤラレタガ、改メテ伺ヒマスガ、小川政務次官ハ其點ハ如何様ニ御考ヘニナッテ居リマスカ、ソレヲ一ツ伺ッテ私ノ疑問ヲ申上ゲダイト思フノデアリマス

○小川政府委員 私一昨日能ク御話シテ置イタ積リデアリマスガ、負擔力ノ考方ト社會政策ノ考方ハ能ク似テ居リマスガ、併シ全然一致シタモノデアル

テ申上ダタノデハアリマセヌ、負擔力ノ關係カラ見タ所ト、ソレカラ社會政策カラ見タ所トハ一致スル所モ多クアリマス、今回ノ減稅案ハ擔稅力カラ見

モピタリト合ツテ居ルト云フコトヲ申シタノデアリマス、學問上ノ觀念論カラ言ヒマスガ、今日此場合ニ於テソレマ

テ行ツテ話ス必要モナカラウト思ヒマス、サウシマス

○武田委員 大體御趣意ガ分リマシタ、サウ致シマスト私ノ質問ハ極メテ

簡單ニナルノデアリマス、私ハ實ハ第二ノ點ガ最モ重大ナコトダト思ツテ居ルノデアリマス、小川政府委員ノ御意

ニノ點ガ最モ重大ナコトダト思ツテ居ルノデアリマス、是ガ產業政策デアリマセウ、若シ是ガ社會政策デア

致スル、儻テソレハ社會政策ト一廢ヲ致スト、儻テソレハ社會政策ト一

ハ言ハレナイ、斯ウ云フヤウナ御趣旨

デアリマシタカラ、多少私ノ疑ガ減ジ

タ譯デアリマス、ソレデ一ツ御伺ラシテ置キタイコトハ、租稅體系ヲ組立テ

ル時ニハ產業政策ヲ加味スル、是ハ御尤モナ話デ異存ハアリマセヌガ、此度

ノ減稅ノ計畫ニハ產業政策ヲ加味シナ

イ、斯ウ云フヤウナ意味ノ御話ニナリ

マシタ、之ニハ私ハ一寸疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ヤカマシク論ジマシタナラバ是ハ色々面倒ナコトガアラウト思ヒマスケレドモ、左様ナ「アカデミック」ナ議論ヲ茲ニ致シマスト云フコトノ減稅案ヲ出シタノデアルト仰シヤル

ト云フコトガ田畠ニ免稅點ヲ用ヒル重シタノデアリマス、學問上ニ二百四十圓二百圓ヲ免稅點ト爲サルト云フコトニ思フノデアリマス、貨賃價格ニ依ツテ

ト思フノデアリマス、是事實上二百四十圓ニ思フノデアリマス、然ルニはマデノ二百圓ヲ事實上二百四十圓ニ免稅點ヲ御引上ニナルト云フ政策ヲ行ツテ話ス必要モナカラウト思ヒマス

四十圓ニ當ルト云フコトハ、大藏大臣

先日ノ御説明デアリマス、サウシマス

ト今度ノ減稅案ヲ實行ノ結果、地租ノ免租ガ多クナツタト云フコトニナルノ免租ガ多クナツタト云フコトニナルノ免租ガ多クナツタト云フコトニナルノ

ト思フノデアリマス、是事實上二百四十圓ニ思フノデアリマス、然ルニ是マデノ二百圓ヲ事實上二百四十圓ニ思フノデアリマス、是事實上二百四十圓ニ思フノデアリマス、然ルニ是マデノ二百圓ヲ事實上二百四十圓ニ思フノデアリマス、然ルニ是マデノ二百圓ヲ事實上二百四十圓ニ思フノデアリマス、然ルニ

ナラズ、此稅ヲ改廢スルニ當ツテ產業政策ヲ何等考慮シナイト云フヤウナコト

ナラズ、此稅ヲ改廢スルニ當ツテ產業政

策ヲ何等考慮シナイト云フヤウナコトナラズ、此稅ヲ改廢スルニ當ツテ產業政

ナラズ、此稅ヲ改廢スルニ當ツテ產業政

ニ是ハ奇怪ナコトデハナイカ、私ハ實ニ是ハ奇怪ナコトデハナイカ、私ナラズ、此稅ヲ改廢スルニ當ツテ產業政

ナラズ、此稅ヲ改廢スルニ當ツテ產業政

ハ進ンデ此減稅案ソレ自身ニ產業政策ノ意味ヲ十分ニ加味シテアルノデハナデアリマセウ、若シ井上大臣竝ニ小川政務次官ノ御説ノ如

ハ進ンデ此減稅案ソレ自身ニ產業政策ノ意味ヲ十分ニ加味シテアルノデハナ

ウ云フ譯デアルカト云フ質問デアリマス、是ハ大藏大臣モ其事ヲ御認ニナッテ居ル、成程今日ノ一般大衆ハ非常ニ困ッテ居ル、故ニ其負擔ヲ輕減スルト云フコトニ向ッテハ十分考慮ヲシテ居ル、併シ今日ノ農村ノ状態ヲ見ルト、先以テ農村關係ノ地租ヲ減税スルカラ、ソレト併立シタ所ノ營業収益税ト云フモノモ減ズルコトニシタノデアル、其結果間接税ノ減額ハ甚ダ少クテ遺憾デアルケレドモ、ソレハ明年ノ税制整理ノ時ニ考ヘル積リデアル、斯様ナ御説明デアツタノデアリマス、サウシマスト、擔稅能力ノ一番少イ一般大衆ノ負擔輕減ヲ明ニ延シテ、農村ノ状態ヲ御考ニナルト云フコトハ、即チ農村ノ今日ノ産業状態ヲ此儘ニ捨テ、置ケヌト云フ。田畠ナルト云フモノハ賃貸價格ニ致シマスレバ百六十何圓、逆ニ言ヒマスレバ二百圓ト云フコトニ相成ルノデ、アリマス、併シ此點ハ吾々ノ方デ免稅力ヲ御入レニナッタ云フコトハ、産業政策ノ見地カラ先ヅ農村ノ負擔ヲ御減ジニナルト云フコトニナッタノデハアリマセヌカ、故ニ此減税案ノ根本ガ産業政策カラ出發シタト云フコトヲ以テ私ハ寧ロ之ニ贊意ヲ表シテ居ルノデアリマス、然ルニ今ノ御話カラ申セバ今度ノ減税案ト云フモノハ擔稅能力ダケヲ考ヘテヤツタノデ、産業政策ト云フコトハ加味シナインデアル、産業政策ハ租稅全體ノ體系ヲ組立テル時ニ初メテ考フベキ問題デ、今度ノソレヲ考ヘテ居ナイノダト仰シヤルノハ實際ニ於テ非常ナ矛盾ヲ生ジハシナイカト思フ

○井上國務大臣 私カラ答辯致シマスノデアリマスガ、其點ハ如何デアリマスカ大藏大臣ノ御説明ヲ願ヒタイノデシ今日ノ農村ノ状態ヲ見ルト、先以テ農村關係ノ地租ヲ減税スルカラ、ソレマシテ、ソレカラ私ガソレニ對シテ意見ヲ申上ゲマス

○青木政府委員 一應此二百圓ト二百四十圓ト云フ關係ヲ私カラ申上ゲマス、成程計算ヲ致シマスト云フト、田畠ノ賃貸價格ト地價ノ割合ハ八割何分ト云フノデアリマスカラ、地價ノ二百圓ト云フモノハ賃貸價格ニ致シマスレバ百六十何圓、逆ニ言ヒマスレバ二百圓ト云フ趣旨デ地租ノ輕減ノコトニ最モマシタル如ク、農村ノ負擔ヲ輕減スル點ヲ引上ゲルト云フコトヲ主眼トシテはヤツタノデハゴザイマセヌノデ、二タカ、ドウカト云フコト、ソレカラ今

○武田委員 餘リ斯様ナ問題ニ付テ長四十年ト云フ關係ヲ私カラ申上ゲマス、成程計算ヲ致シマスト云フト、田畠ノ賃貸價格ト地價ノ割合ハ八割何分ト云フノデアリマスカラ、地價ノ二百圓ト云フモノハ賃貸價格ニ致シマスレバ百六十何圓、逆ニ言ヒマスレバ二百圓ト云フ趣旨デ地租ノ輕減ノコトニ最モマシタル如ク、農村ノ負擔ヲ輕減スル點ヲ引上ゲルト云フコトヲ主眼トシテ是ハヤツタノデハゴザイマセヌノデ、二タカ、ドウカト云フコト、ソレカラ今ノ賃貸價格ニ免稅點ヲ置クト云フコトノ便宜デヤツタノデアッテ、産業政策ト云フモノハ一切其中ニ加味シナインデアルカ、ドウカ、斯ウ云フコトヲ端的ニ取扱上ノ便宜ヲ圖ル、其結果ト致シテ成程今仰セニナッタヤウニ少シ引上ゲラレタ云フコトニナリマスガ、サウシテ云フコトヲ主眼トシテ出シタ譯デハアリマセヌ

○井上國務大臣 今ノヤウナ事情デ出業ガ盛ニナルト云フコトヲ申シマスガ、農村ノ負擔ヲ輕ク致シマスノニ付

○武田委員 私ハ此問題ハ餘リ多ク申シマセヌガ、大藏大臣並ニ小川政務次官ノ御話デハ、甚ダ不徹底デアッタト私ハ考ヘマス、産業政策ヲ加味シナイト仰シヤツテモ、今大藏大臣ノ御説明ニ依ツテモ産業政策ヲ加味シタノデアル、吾々ハ産業政策ヲ加味スルコトヲ希望スル、産業政策ヲ加味シテコソ初メテ是ガ價值アルノデアリマス、併シソレコトニナリマスカラ、既ニ大藏大臣並

ニ小川政務次官ノ意ノアル所ガ分ッタ以上ハ、私ハ其御趣旨ニハ不満デアルト云フコトヲ申上ゲテ次ノ質問ニ移リマス

序ナガラ私ハ先日カラ加藤君ノ質問ニ關聯シテ御伺シタイト思ッタノデアリマスカラ、ソレヲ一ツ伺ッテ置キタイ、ソレハ此委員會ノ初頭ニ當リマシテ、私ハ幣原首相代理ニ提案ノ根本趣旨ヲ伺ッタノデアリマス、其後井上大藏大臣ノ加藤委員其他ニ御答ニナッタ所ト、首相代理ノ私ニ御答辯ニナッタ所ト、大分矛盾シテ居ル點ガアルノデアリマス、是ハ敢テ私ハ好ンデ兩大臣ノ矛盾ヲ指摘シテ快トスル者デハアリマセヌケレドモ、此減稅案ノ根本ニ關スル問題デアリマスガ故ニ、此場合一ツ原首相代理ニ向ッテ、私ハ斯ウ云フ意味ノ事ヲ御尋シタノデアリマス、減稅ヲナサル場合ニ於テ、殊ニ消費稅ニ於テ、其金額ガ餘リ少イト云フト、其減稅ノ效果ガ消費者ニ轉嫁致サヌ場合ガ多イ、殊ニ今日ノ場合ニ於テハ砂糖ノ例ヲ取ツテ見テモ、五厘カ七厘位シカ減稅ニナラヌト云フ場合ニハ、中間ノ商人ノ利益ニ歸シテ、消費者ノ利益ニ一向ナラナイ、是ハ實ニ意味ノナイコトデハアルマイカ、斯ウ云フ意味ヲ申上ゲタノデアリマス、其間ニ其問題ニ取ッテ

幾多ノ質問應答ガ行ハレマシタ結果、最後ニ幣原首相代理ガ、私ニ斯ウ云フコトヲ御答ニナッタノデアリマス、「砂

糖消費稅ノ減稅ハ消費者ニ對シテ轉嫁スルヤ否ヤト云フ質問デアリマスルカ

ラ、私ハ認メテ居ルト申シタノデアリマス、轉嫁シナイモノガアリ得ルチャ

ナイカト云フ御話デアリマスルガ、私

ハ此場合ニ於テトアル、「此場合ニ於テ」トハ、今度ノ減稅ニ於テト云フ斯ウ

云フ意味デアリマス、「私ハ此場合ニ於テ轉嫁スルモノト認メテ居リマス、私ハ斯様ナコトデ決シテ揚

足取的ニ伺フノデハナイ、斯様ナコトヲ特ニ御伺ヒシナケレバナラヌノハ、

アリマス、私ハ斯様ナコトデ決シテ揚

云フ大藏大臣ノ御意見トハ大分隔リガ云フ大藏大臣ノ御意見トハ大分隔リガ

云フ大藏大臣ノ御意見トハ大分隔リガ云フ大藏大臣ノ御意見トハ大分隔リガ

云フ大藏大臣ノ御意見トハ大分隔リガ云フ大藏大臣ノ御意見トハ大分隔リガ

云フ大藏大臣ノ御意見トハ大分隔リガ

ナイカラ黑白程ノ差ハアリマセヌケレドモ、斷ジテ轉嫁スルト云フ——斯様ニ講究スル積リダ斯ウ言ハレタ、然ラバ何ヲ苦ンデ轉嫁ノ極メテ困難ナル殆ド轉嫁シナイト認ムルモノヲ總テノモニ減稅シテ、地主ニモ商工業者ニモ

テ特ニ考ヘテ大衆ノ満足スル方法ヲ更ニ講究スル積リダ斯ウ言ハレタ、然ラバ何ヲ苦ンデ轉嫁ノ極メテ困難ナル殆ド轉嫁シナイト認ムルモノヲ總テノモニ減稅シテ、地主ニモ商工業者ニモ

云フ大藏大臣ノ御意見トハ大分隔リガ云フ大藏大臣ノ御意見トハ大分隔リガ

云フ大藏大臣ノ御意見トハ大分隔リガ

云フ大藏大臣ノ御意見トハ大分隔リガ

ハ、一體如何ナル事實ヲ指シテ仰シャルノデアリマスカ、此二點ヲ伺ヒタイノデアリマス。

○井上國務大臣 御答致シマスガ、消費稅ノ減稅ガ消費者ニ直チニソレガ影響スルヤ否ヤト云フコトハ、何レノ場合ニモ問題ニナル問題デアリマシテ、稅額ガ大キカラウト少カラウト、當然は來ル問題デアリマス、ソコデ一番ソレニ對シテ努ムベキ事ハ、消費稅ノ如何ナルモノニ幾ラ下グレバ、一番ソレガ消費者ニ直チニ影響スルカト云フコトニナラウト思ヒマス、其處ガ私或ハ首相代理ノ申シマシタコトニ付テノ、多少ノ程度ノ差ガアルコトデアラウト思ヒマス、恐ラクハ武田君御自分ニモ、消費稅ガ消費者ニ、其稅額ノ大小ニ拘ラズ、影響スルヨトガ非常ニ困難デアルト云フコトハ、御認メニナル小ニ拘ラズ、影響スルヨトガ非常ニ困難デアルト云フコトハ、御認メニナル少ナウゴザイマスガ、併シ日本國中デ一家ノ人間ガ砂糖ヲ平均幾ラ祇メルカ斤ニ付テ幾ラト云フ稅ニナルト、大變少ナウゴザイマスガ、併シ日本國中デ一家ノ人間ガ砂糖ヲ買フ人ニ知ラセナケレバト云フコトヲ考ヘテ見マスト、其稅額ガ少クテモ、一家ノ砂糖消費高ハ、ソレダケノ金額ガ必ズ消費者ニ行タケ一厘デモ直接影響スルヤウニ努メナケレバナラヌ、斯ウ云フ事ハ當然デアラウト思ヒマス、其高ガ少イカラ消費者ニ一切影響ガナイ、或ハ多イカラ直接ソレダケノ金額ガ必ズ消費者ニ行

テ、此間カラ頻ニ省內ノ同僚トモ相談シテ居リマスガ、砂糖ガ一斤幾ラニナレバ、一家ノ經濟ガドウナル、一年ニ凡マス、一寸考ヘテモ分ル話デアリマス、ソドレダケノ砂糖ヲ使ツテ居ル、サウ云フ事ハ砂糖ヲ買フ人ニ知ラセナケレバ、一家ノ經濟ガドウナル、一年ニ凡マス、一寸考ヘテモ分ル話デアリマス、ソドレダケノ砂糖ヲ買フ人ニ知ラセナケレバ、一家ノ經濟ガドウナル、一年ニ凡マス、一寸考ヘテモ分ル話デアリマス、ソドレダケノ砂糖ヲ買フ人ニ知ラセナケレバ

監督ト云ヒマスカ、努力ト云ヒマスカ、是ハ消費者ニ成タケ行クヤウニ、之ヲ如ク成行キノ相場デナリ、例ヘバ多少ノ協定シタ相場ガアルトスウ見マスト、此砂糖消費稅ヲ下グタコトガ、消費者ニ行キ惡イヤウナ事情ガナイデモナシ、其代リ一方カラ云ヘバ、相當政府トシテハ監督モ出來ル、ソレデアリマスカラ監督ヲ致シマシタナラバ、アノ減稅ハ少イケレドモ、ソレダケ消費者ニ併シ非常ナ困難デアル、困難ハ努力必ズ減稅ニナルト、斯ウ考ヘテ居リマス、併シ非常ナ困難デアル、困難ハ努力必ズ減稅ニナルト、斯ウ考ヘテ居リマス、併シ非常ナ困難デ、何レノ場合デモ困難デアル、ソレハ武田君モ知ッテ居ルダラレデ大藏大臣ハ、消費稅ノ轉嫁ハ頗ル困難ナ問題デ、何レノ場合デモ困難デアル、ソレハ武田君モ知ッテ居ルダラレ、斯ウ仰シヤル、ソレハ其通リデアリマス、併ナガラ私ノ聽カントスル所ハ左様ナ事デハナイ、消費稅ノ轉嫁ハ、金額ノ大ト小ノ場合ニ依ツテ非常ナ相違ノアルト云フコトハ、少シク此消費稅ノ事柄デアリマス、ソレヲ大キイ金額モ小サイ金額モ、轉嫁ニハ根本ノ程度ハ同一ダト仰シヤルコトハ、是ハ少シハ同一ダト仰シヤルコトハ、是ハ少シ唯ノ然ラバ今ノ成ベク轉嫁スルヤウハナ方法ヲドウスルカト云フト、砂糖仲間ニ於テハ、即チ砂糖協會ノヤウナモノガ出來テ居ツテ、其相場ノ協定ヲシテ上ダケ減ルト云フコトヲ目安ニ置キマシテ、此間カラ頻ニ省內ノ同僚トモ相談シテ居リマスガ、砂糖ガ一斤幾ラニナレバ、一家ノ經濟ガドウナル、一年ニ凡マス、一寸考ヘテモ分ル話デアリマス、ソドレダケノ砂糖ヲ使ツテ居ル、サウ云フ事ハ砂糖ヲ買フ人ニ知ラセナケレバ、一家ノ經濟ガドウナル、一年ニ凡マス、一寸考ヘテモ分ル話デアリマス、ソドレダケノ砂糖ヲ買フ人ニ知ラセナケレバ、一家ノ經濟ガドウナル、一年ニ凡マス、一寸考ヘテモ分ル話デアリマス、ソドレダケノ砂糖ヲ買フ人ニ知ラセナケレバ

者ガ壟斷スルヤウナコトノナイヤウニ、其協定價格ニ干涉スルト云フヤウ左様ナ意味デアルカ、又假ニ左様ナ意味ト致シマスナラバ、如何様ナル方法ヲ以テ、此砂糖業者ノ相場協定ニ關シテ、大藏省ハ喙ヲ御容レニナルヤウナ手續ガアルノデアリマセウカ、私ハ此點ニ於テ疑ヲ持ッテ居ルノデアリマス

今一ツ序ニ伺ッテ置キマス、若シ真ニ大藏大臣ガ、此一般大衆ノ今日ノ窮乏ナル狀態ニ鑑ミ、サウシテ其負擔能力ノ極メテ少イト云フコトヲ御考ノ上デ、其負擔ヲ輕減シテヤラウト云フ御趣旨デアリマスルナラバ、何故ニ關稅根據ガナクテモ、左様ナコトハ緩和サレルト云フコトヲ私ハ信ジテ居リマス

第二ノ點ハ、御議論ノヤウデアリマハ、之ヲ干涉スル權能モナイケレドモ、減稅ニナルト言ハレマスガ、必ズシモ澤稅ト云フヤウナ高率ノモノモアリマス、假ニソレデハ問題ニナッテ居ル砂糖稅ニ付テ、一ツ砂糖ノ關稅ヲ下ゲテ見ルトスウ致シマスト、今日ノ日本ノ砂糖ハ臺灣デ寧ロ出來過ギマシテ、外國ノデアリマス、例ヘバ砂糖ノ消費稅デシテ御覽ナサイ、是ハ明カニ消費者ニス、是ハ勿論直接ノ關係ハナイケレドモ、真ニ左様ナ御考デアルナラバ、私ハ左様爲ス、是ハ勿論直接ノ關係ハナイカ思ヒマス、此兩點ニ向ッテ今一應大藏大臣ノ御感想ヲ伺ヒタイノデアリマス

ニアルトシテ、其協定ガ實際ノ價値ヨリモ高イ値段ヲ維持シタ協定ヲ致シマスニ致シマシテモ、亞米利加ノヤウニ、ト云ヒマスト、サウハイカヌノデアリ此協定ニ向ッテ彼此レ政府ガ強制力ヲ用キマス法ノ根據ハ日本ニハゴザイマスカ、國民性ト申シマスカ、政府當局者ニ於テ努力致シマシタラバ、法制ノ代理ノ御意見トガ、甚ダ背馳シテ居ルト云フコトハ、洵ニ遺憾千萬ニ存ジマス、而シテ大藏大臣ハ轉嫁スルコトハ困難デアルカラ、ソレヲ轉嫁スルコトニ努メヤウ、サウシテ砂糖協定ニ向ッテシテ、關稅ヲ下ゲタラバ、總テノモノガハ、之ヲ干涉スル權能モナイケレドモ、ソレハ何トカ方法ガアラウト云フヤウナコトヲ仰シヤルト、所謂官僚思想デナウナ御親切ナ考ナクシテ、カト云フヤウナ御親切ナ考ナクシテ、名ヲ美ニセンガ爲ニ、其實ハ果シテ國民ノ實生活ニ、如何ナル效果ヲ及ボス

○武田委員 私ハ最早多ク申シマセヌ、唯此場合大藏大臣ノ御意見ト首相代理ノ御意見トガ、甚ダ背馳シテ居ルス、而シテ大藏大臣ハ轉嫁スルコトハ困難デアルカラ、ソレヲ轉嫁スルコトニ努メヤウ、サウシテ砂糖協定ニ向ッテシテ、關稅ヲ下ゲタラバ、總テノモノガハ、之ヲ干涉スル權能モナイケレドモ、ソレハ何トカ方法ガアラウト云フヤウナコトヲ仰シヤルト、所謂官僚思想デナウナ御親切ナ考ナクシテ、カト云フヤウナ御親切ナ考ナクシテ、名ヲ美ニセンガ爲ニ、其實ハ果シテ國民ノ實生活ニ、如何ナル效果ヲ及ボス

○加藤委員 私ハ一昨日來比較的細カイ問題ニ付テノミ質疑ヲ致シテ居リマシタガ、大綱ノコトニ付テ是ヨリ大藏大臣ニ質疑ヲ致シタクト存ジマス、既ニ時間モ六時近クニ相成ッテ居リマスシ、又質疑モ明日ダケト云フ協定ガ出來タヤウニ存ジマスノデ、私ハ簡單ニ此處ニ御答辯ヲ願ッテ、議事ヲ進行致シタイ

額ノ大小ニ依ッテ、其效果ニ相違ノアルモノデアラウト私ハ考ヘテ居リマス、ヲ留メテ居ル者ハ、減稅若クハ增稅ノト存ブルノデアリマス

即チソレハ政府ガ、本年度ノ豫算ニ

○井上國務大臣

砂糖ノ協定ガ假ニ茲

費サレルヨリ以上ニ、臺灣デ出來テ居

額ノ大小ニ依ッテ、其效果ニ相違ノアル

稅制調査會ヲ設クルト云フ費用モ出テ

居ルノデアリマスシ、屢々幣原臨時代理及大藏大臣ヨリモ申サレタコトデアリマスルガ故ニ、是ハ必ズヤ御實行ナサラネバナラヌコトデアルト存ジマスルガ、從來ノ調査會タルヤ、多クノ場合茶飲ミノ會合ノ如クニナツテ居ルノデアリマスルガ、今回ハマサカ左様デハナカラウト存ジマスルガ、之ニ對シテ政府ハ相當重大ナル決心ト覺悟ヲ以テ、此調查會ニ臨マレルヤ否ヤト云フコトガ第一デアリマス

○井上國務大臣 覚悟ガ唯アルト申上ゲマシテモ、甚ダ要領ヲ得ナイ答辯デアリマスガ、私ハ極ク簡單ニ自分ノ考ヲ申述ベマスト、昨年ノ七月ニ行政ノ經濟化ヲ圖リマシタ頃カラ考ヘテ、斯ウ税ガ急激ニ減リマシテハ、日本ノ行政ノ大體ハ此金デハイカヌノダ、増稅モ出來ナイト云フヤウナ次第アルカラ、此行政ヲドウシテ整理シナケレバイカヌト云フコトヲ考ヘマシテ、實ハ公ケノモノデハアリマセヌガ、總理大臣ノ指揮ノ下ニ私ガ主トナツテ行政刷新委員會ト云フモノヲ聞キマシテ、少クトモ一週間ニ二度位會合致シマシテ、此議會ノ始マルマデニ會ヲズンズノデアリマス、右調查會ニハ唯單ニ國重ネテ來タノデアリマス、隨テ行政整理等ニ付キマシテモ、相當ニ提案シ得ル草案ヲ持ツテ居ル積リデアリマス、又局部的ノ行政稅制ノ整理デアルカ、或ハ國稅、地方稅、總テヲ入レテ根本的

所ヲ見ルト、ドウモ國民ノ負擔ノ公正ガ、從來ノ調査會タルヤ、多クノ場合茶飲ミノ會合ノ如クニナツテ居ルノデアリマスルガ、今回ハマサカ左様デハナカラウト存ジマスルガ、之ニ對シテ政府ハ相當重大ナル決心ト覺悟ヲ以テ、此調查會ニ臨マレルヤ否ヤト云フコトガ第一デアリマス

○井上國務大臣 私自分ノ今日ノ考デコトハ、實際ノ必要ニ迫ラレテ居ルノデアリマシテ、私ガ之ヲ説明致シマスコトハ、實際ノ必要ニ迫ラレテ居ルノコトヲ私ハ豫期シテ居ラヌノデアリマス、實際今日ノ政府トシテハ稅制ノ整理行政ノ整理ヲシナケレバ、中ニモ、是ハ急イデ調査ヲ致シテ居ル、云フ事情ニ迫ラレテ居ルノデアリマス、隨テ相當ノ結果ヲ舉ゲナケレバナス、過ヲ述ベテ一つ御耳ニ入レテ、是デ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○加藤委員 然ラバ第二ニ御伺シタイ度ヨリ之ヲ實行スルト云フヤウニ、吾ノデアリマス、右調查會ニハ唯單ニ國稅ノミデアルカ、地方稅モ之ニ包括シテ根本的ノ調査ヲサレルノデアルカ、又局部的ノ行政稅制ノ整理デアルカ、ト歴史ヲ述ベタ所以デアリマシテ、左様ナ必要ニ迫ラレテ居ルノデアリマス

○井上國務大臣 其御問ガ私ガ今長々テ實行シタイトアル、然ラバ昭和七年ノ結果ダト考ヘテ居リマス

○加藤委員 大藏大臣ノ只今マデノ御答辯ニ依ツテ見マスト、根本的ニ稅制ノ建直シヲスルト云フヤウナ御言明デアリマスルガ、然ラバ茲ニ私ハ改メテ伺タル地租法其他ハ、其中ニ含ムコトナ

リト考ヘルノデアリマスルガ、是ハ別ニサレルノデアルカドウカト云フコトデゴザイマス

○井上國務大臣 調査シタ結果或ハ已ムヲ得ズ再ビ改正スルヤウナコトモア

リ得ルコトモアリマスガ、私ノ今日ノ考デハ、今ノ地租法ハ、地租ノ減税、營業収益税トノ釣合ヲ取ツタコトカラ考ヘマシテ、此四ツノ稅ヲ直チニ再ビ昭和六年度ニ改正ヲシヨウト云フコトハ、

先ヅ考ヘテ居リマセヌ、併ナガラズット全體ノ稅ガドウ云フ風ニナリマスカ、調査シタ結果或ハ已ムヲ得ズ多少ノ改正ヲ施サナケレバナラヌカモ知レマセヌケレドモ、今日此稅ヲ再ビイデルカト云ヘバ、私ハイヂラヌト、斯ウ申上ゲテ置イテ宜シイノデアリマス

○加藤委員 サウ致シマスルト、今回御提案ニナリマシタル、此地租法初メ其他ノモノハ、根本改革ヲ豫定シテ御提案ニナリマシタモノナリト信ジテ構ハヌノデアリマスカ

○井上國務大臣 左様御考ヘ下サッテ差支ゴザイマセヌ

○加藤委員 小川政務次官ハ只今大藏大臣ノ申サレタト同様ノ御考デアリマスカ、今迄發表サレマシタ御意見ト云フモノハ、全然相違致シテ居リマスガ、其邊ハ如何デアリマスカ

○小川政府委員 私ノ申上ゲマシタノモヲ何トカ云フコトハ變更ニナルカモ

モ、只今大藏大臣ノ申サレマシタノモ、知レナイト云フヤウナ事ガゴザイマスケレドモ、地租ノヤウナモノハ、大體今度ヤッテ居リマスカラ、サウ根本的ニ變理ヲシタ時分ニドウナルカ分リマセヌ

ムヲ得ズ再ビ改正スルヤウナコトモアリ得ルコトモアリマスガ、私ノ今日ノ考デハ、今ノ地租法ハ、地租ノ減税、營業収益税トノ釣合ヲ取ツタコトカラ考ヘマシテ、此四ツノ稅ヲ直チニ再ビ昭和六年度ニ改正ヲシヨウト云フコトデアリマスカ、率

ニハ私ハ瓦ツテ申シテ居リマセヌ、殊ニ地租ノ事ヲ申上ゲマシテ、今日ノ考ハ此位ノ程度デアルト云フコトヲ申上ゲタト思ヒマス、ソレデアリマスカラ大藏大臣ノ今ノ御話ト、少シモ相違シテ居リマセヌ

質問ニ對シマシテ、地租ノコトハ多分別デアラウト思ヒマスガ、アトノモノニ付キマシテハ「根本的改正ニナリマストドウ云フ事ニナルカハッキリ分リマセヌ」ト答辯サレテアリマス、是ハ私言葉尻ヲ捕ヘル譯デハアリマセヌガ、是ハ大藏大臣ノ、是ダケハ最早改正ヲシナイト云フコト、同様ニ心得テ宜シウゴザイマスカ

○小川政府委員 大藏大臣ノ申サレタ趣旨ヲ、私ハ申シタト思ツテ居リマス、

○加藤委員 只今迄ノ御答辯ヲ承リマス、今回提案シタモノハ直サナイ、一人ノ御意見デハナイ、調査會ト云フ

カ分ラヌ、ソレガ根本的デアル、アナタ

ス、何故カナラバ、若シ今日是ガ全體ノ

ト云フコトハ申シテ居ラヌノデアリマス、此四ツノ稅ヲ此處ニ置キマシテ、之

ヲ積極的ニモウ昭和六年度ニ變ヘナイト云フコトハ申シテ居ラヌノデアリマス、來年ノ稅ノ調査ハ殆ド必要ハナイ

位マデ出來テ居ル筈デアリマス、ソレガ出來ナイデ居ルカラ調査シヨウト云

フノデアリマスカラ、私ハ積極的ニ此

稅ハ變ヘマセヌトハ申シマセヌガ、今日ノ所デハ、私ハ此稅ハ此程度ニ於テ、

大體稅制ノ調査ヲシテモ、是デ宜クハナカラウカ、隨テ今日ハ變ヘル氣持ハ

一ツモアリマセヌ、斯ウ申上ゲテ居ル

ノデアリマス

○加藤委員 サウスルト私ハ益怪シ

クナル、私ガ御尋シヨウトスルコトヲ、

只今大藏大臣ガ徹底的ニ根本的ノ建直

シノ立場デ之ヲ提案シタナラバ、何モ

根本的ニ調査會ヲ開ク必要ハナイ、根

本的ノ調査ヲスル時ニ是モ加ヘテ、其

場ニドウナルカモ分ラヌガ、今日ハ自

分ハ此儘デ宜カラウト思フト、斯ウ仰

シヤツタノデアリマス、蓋シサウナケレ

バナラヌノデアリマス、根本的調査ヲ

スルニ、之ヲ外ニ除外シテ根本的ノ調

査ハナリ、ソコデ大藏大臣ハ根本的調

査ノ中ニ、此提案ヲシタ、是モ亦入レテ

ヤリ直ス、場合ニ依ツテヤリ直ス時分

ハ先ヅ此邊デ宜カラウト思フ、斯ウ云

フコトニナルノデアリマス、ソコデ私

ハ今回ノ減税ナルモノガ、其時ドウナ

ルヤラ、行衛不明ニ相成ルノデハナイ

カ、或ハ行衛不明ニナラヌカモ知レナ

イガ、ナルカモ知レナイ、極メテ不確定

ナモノニ相成ル、是ハ只今アナタノ御

答辯ノ前提カラ申シマスレバ、當然御

首肯爲サラネバナラヌコトデアルト思

フノデアリマス

○井上國務大臣 財政計畫ノ建テ方

ハ、昭和六年度、昭和七年度ト、ズット續

クノデアリマシテ、即チ平年ナラバ二千五百萬圓ノ減税ヲシタ後ノモノガ、

日本ノ稅制ニナルノデアリマス、ソレ

ヲ基ニシテ稅制ノ調査ヲスルノデアリ

マスカラ、此減税ガ減税サレタ後ノ稅

ヲ依テ減ズルコトニナリマス、即

チ其減ジタ後ガ日本ノ稅制デアリマス

カラ、ソレヲ基ニシテ調査ヲスルノデ

其處ハサウ御考下サルト、此減税ガド

アリマスカラ、其減税計畫ガ煙ニ消エ

ウナルカ分ラヌト云フ問題ニハナラヌ

ノデアリマス

○加藤委員 モウ一應御願致シマス、

サウスルト、只今ノ御答辯ヲ得マシテ、

是ガ分ツテ來タ奴ガ、ドウヤラ分ラヌヤ

シヤツタノデアリマス、蓋シサウナケレ

バナラヌノデアリマス、根本的調査ヲ

スルニ、之ヲ外ニ除外シテ根本的ノ調

査ハナリ、ソコデ大藏大臣ハ根本的調

査ノ中ニ、此提案ヲシタ、是モ亦入レテ

ヤリ直ス、場合ニ依ツテヤリ直ス時分

ハ先ヅ此邊デ宜カラウト思フ、斯ウ云

フコトニナルノデアリマス、ソコデ私

ハ今回ノ減税ナルモノガ、其時ドウナ

ルヤラ、行衛不明ニ相成ルノデハナイ

カ、或ハ行衛不明ニナラヌカモ知レナ

イガ、ナルカモ知レナイ、極メテ不確定

ナモノニ相成ル、是ハ只今アナタノ御

答辯ノ前提カラ申シマスレバ、當然御

首肯爲サラネバナラヌコトデアルト思

フノデアリマス

○井上國務大臣 財政計畫ノ建テ方

ハ、昭和六年度、昭和七年度ト、ズット續

クノデアリマシテ、即チ平年ナラバ二千五百萬圓ノ減税ヲシタ後ノモノガ、

ヲ重ネテ不明瞭ニ了ツテ居ツタ點ノ二三

點ヲ簡単ニ質疑ヲ致シテ、明確ナル御

答辯ヲ求メタイト思フノデアリマス、

ドウカ簡單ニ御答辯ヲ願ヒタイ、併ナ

ガラ明瞭ニシテ戴カヌト、却テ長クナ

リマスカラ、其點ハ御含置キヲ願ヒタ

トハ、吾々ハ一向考ヘテ居ラヌノデア

リマス

○加藤委員 是レ以上餘リ質疑應答ヲ

致シマシタ所ガ、結局益々不可解ニ相

成リマスカラ、私ハ唯一言致シテ置キ

マス、只今マデノ御答辯ニ依リマスト、

デハ此建前デ行ツテ、昭和十二年度カラ

ハ今度ノ根本建直シヲヤツテ行クヤウ

ニモ思ハレマスガ、マサカサウデハナ

マス、只今マデノ御答辯ニ依リマスト、

デハナカラウト思ヒマスガ、モウ少シ

デ行クト云フコトガ分ラヌ、昭和十一

年度マデ此儘デ行クノカドウカ、サウ

コトハ、政府ノ言ハレル通リデアリマ

スガ、七年度以降ニナルト、ドウモ此稅

得ヌノデアリマス、建前ガドウデアル

カト云フコト、違ヒマス、根本的ノ整

理ヲスルト言ハレテ、是モ含マルト言

ス

○井上國務大臣 高橋サンノ手許ニ差

出シタ筈デアリマヌ、三年度、四年度ノ

積リデス——甚ダ申譯アリマセヌ、一

昨日既ニ手ニ入ッタノデスカラ、差出シ

テアルト思ヒマシタガ、差出シテ居ナ

イコトハ甚ダ恐縮ニ存ジマス、手違ガ

モ率ガ變ツテ、九百萬圓減ズルコトニナタモノト、本會議ニ於テ私ガ質問應答

アリマシタサウデス、直ゲ配リマス
○高橋委員 御多忙ノ際デアリマスル
 カラ、多少ノ手違ヒノアルコトニ付テ
 答メ立ハ致シマセヌ、ソレヲ頂戴致シ
 マシテ、其點ニ付テハ論議ヲ進メルコ
 トニ致シマスルガ、ソレヲ待ツテ居ッテ
 ハ時間ヲ空費致シマスカラ、他ノ點ニ
 付テ私ノ疑ヲ晴ラシテ行キタイト思フ
 ノデス、ソレハ茲ニ戴イタ稅第三十八
 號ノ人件費調、並ニ其次ノ三十九號ノ
 昭和六年度義務費表、主ナルモノ一口
 五百萬圓以上ト云フモノ、是ハ義務費
 ノ内容デアリマス、デ此義務費ノ内容
 ニ付テハ、遺憾ナガラ問題ニナルモノ
 ハ多クハ五百萬圓未滿ノモノニ多イダ
 ラウト思フヤウナ吾々ハ氣持ヲ持ツテ
 居ルノデアリマス、即チ義務教育費國
 債整理基金繰入ノ二億五千八百六十萬
 圓デアルトカ、警察費ノ連帶支辨金ノ
 二千五百萬圓デアルトカ云フヤウナ大
 キナ數字ハ、之ニ付テ色々論議ガアリ
 マスガ、是ハ大キナ問題トナツテ居リマ
 スルウスウト云フコトモ出來マスマ
 イ、併ナガラ其以下ノモノニ付テハ、私
 ハ十分意見ヲ上下スル餘地ガアラウト
 思フガ、示サレテナイコトヲ甚ダ遺憾
 トスルノデアリマス、是ノ合計ヲザット
 ニ見マシテモ、朝カラ晩マデ一生懸命

當ツテ見マスルト云フト、五億七千五十
 萬圓ニナルノデアリマス、六億五千萬
 圓ノ中ニ、五億七千萬圓前後ダケ之ヲ
 御示シニナツテ、後ハ八千萬圓モ私共ハ
 承知出来ナイ、而シテ其八千萬圓ノ中
 ニハ、吾々ハ餘程整理ノ餘地ガアルト
 思ハレルヤウナ項目ガ多カラウト思フ
 モノニ對シテ、私共ハ御調ヲ頂戴スル
 コトノ出來ヌト云フコトハ甚ダ遺憾ニ
 存ズル次第デアリマス、若シ御手許ニ
 斯云フ調ノ材料ガアリマスルナラバ、
 明日マデデ宜シウゴザイマスルカラ、
 ドウカ御提出ヲ願ヒタイ、是ハ吾々ノ
 非常ナ審議上ノ參考資料ト相成ルモノ
 デアリマス、而シテ人件費ヲ覗イテ見
 ルコトヲ吾々ハ悲シム、斯ウ云フコト
 ニ考ヘママスルガ、之ニ付テ大藏大臣
 ハドウ云フ見地ヲ持タレマスカ
 ○井上國務大臣 高橋サンノ仰シャル
 モ、俸給ト給料ト、之ヲ比ベテ見マス、
 モ、俸給ト給料ト、又五年度實行豫算ニ於キマ
 シテノ俸給給料ノ、此數字ヲ以テサウ御覽
 ドサルノデスカ(高橋委員「サウデス」
 ノ方ハ二百萬圓程減ツテ居リマス、合計
 シテ約七百萬圓減ツテ居リマス、此數字
 ヲ以テ直ニ高給ノ者ヲ罷メテ、新シイ
 料ナドヲ減ジマシテ、サウシテ其大整
 理ヲシタト云フヤウナコトニナツテ居
 ルノデアリマス、而モ是ハ翌年カラ既
 ニ増員ニナツテ居リ、給料ハ増額ニナツ
 テ居ルノデアリマス、左様デアリマス
 マス、而シテ其給料モヤハリ昭和元年
 度カラ漸次增加ヲ致シテ居ルノデアリ

働イテ居ル者ノ手足ヲ省イテ、或ハ高
 級ナル者ヲ罷メテ、馴レタ者ヲ止メテ、
 ル所ヲ以テ、直ニ下級ノ者ノ高給ノ者
 ヲ罷メテ、新シイ者ヲ採用シテ、ソレデ
 モ、行政ノ整理ノ實ハ舉ラナイデ、行政
 ハ益々却テ不整理ニナツタト、斯ウ云フ
 モ、行政ノ整理ノ實ハ舉ラナイデ、行政
 ノ豫算ニ較ベマシテモ七百萬圓前後ノ
 給料俸給ヲ通ジテノ減額デアリマス、
 是ハ三億數千萬圓ノ全體ノ減額ニ較ベ
 ルコトヲ吾々ハ悲シム、斯ウ云フコト
 ハドウ云フ見地ヲ持タレマスカ
 ○井上國務大臣 高橋サンノ仰シャル
 モ、俸給ト給料ト、之ヲ比ベテ見マス、
 モ、俸給ト給料ト、又五年度實行豫算ニ於キマ
 シテノ俸給給料ノ、此數字ヲ以テサウ御覽
 ドサルノデスカ(高橋委員「サウデス」
 ノ方ハ二百萬圓程減ツテ居リマス、合計
 シテ約七百萬圓減ツテ居リマス、此數字
 ヲ以テ直ニ高給ノ者ヲ罷メテ、新シイ
 料ナドヲ減ジマシテ、サウシテ其大整
 理ヲシタト云フヤウナコトニナツテ居
 ルノデアリマス、而モ是ハ翌年カラ既
 ニ増員ニナツテ居リ、給料ハ増額ニナツ
 テ居ルノデアリマス、左様デアリマス
 マス、而シテ其給料モヤハリ昭和元年
 度カラ漸次增加ヲ致シテ居ルノデアリ

ソレカト言ツテ給料二百萬圓減ツテ居
 ル所ヲ以テ、直ニ下級ノ者ノ高給ノ者
 ヲ罷メテ、新シイ者ヲ採用シテ、ソレデ
 モ、行政ノ整理ノ實ハ舉ラナイデ、行政
 ハ益々却テ不整理ニナツタト、斯ウ云フ
 モ、行政ノ整理ノ實ハ舉ラナイデ、行政
 ノ豫算ニ較ベマシテモ七百萬圓前後ノ
 給料俸給ヲ通ジテノ減額デアリマス、
 是ハ三億數千萬圓ノ全體ノ減額ニ較ベ
 ルコトヲ吾々ハ悲シム、斯ウ云フコト
 ハドウ云フ見地ヲ持タレマスカ
 ○井上國務大臣 高橋サンノ仰シャル
 モ、俸給ト給料ト、之ヲ比ベテ見マス、
 モ、俸給ト給料ト、又五年度實行豫算ニ於キマ
 シテノ俸給給料ノ、此數字ヲ以テサウ御覽
 ドサルノデスカ(高橋委員「サウデス」
 ノ方ハ二百萬圓程減ツテ居リマス、合計
 シテ約七百萬圓減ツテ居リマス、此數字
 ヲ以テ直ニ高給ノ者ヲ罷メテ、新シイ
 料ナドヲ減ジマシテ、サウシテ其大整
 理ヲシタト云フヤウナコトニナツテ居
 ルノデアリマス、而モ是ハ翌年カラ既
 ニ増員ニナツテ居リ、給料ハ増額ニナツ
 テ居ルノデアリマス、左様デアリマス
 マス、而シテ其給料モヤハリ昭和元年
 度カラ漸次增加ヲ致シテ居ルノデアリ

マス、殊ニ私共表ヲ能ク見テ居リマス
ルト云フト、昭和元年度カラ勅任奏任
ハ給料ガ増加致シテ居リマスルケレド
モ、判任ハ減ジテ居リマス、大正十四年
度ヨリ大正十五年、詰リ昭和元年ニ至
リマス間ニ、ドノ位減ジタカト云フト
判任官ノ給料ハ約五百萬圓減ジテ居リ
マス、斯ウ云フ過去ノ實績ガ現レテ居
ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ
今回ノ行政財政一般ニ亘ツテ整理節約
ヲ致シタト云フヤウナコトヲ建前ニシ
テ論ゼラレルケレドモ、其實績ハ一向
目立モノガナイ、斯ウ云フ工合ニ考へ
ラレルノデアリマス、併ナガラ大藏大
臣ニ於テモ、高等官以上ノ者ニ手ハ
件費ニ於テモ、高等官以上ノ者ニ手ハ
餘リ下サナイデ、判任官雇員以下ノ者
ニ斧鉄ヲ主ニ加ヘタノデアルト、斯様
ニ私ハ認メラレルノデアリマスガ、ソ
レニ違ヒハナイカドウカト云フコトヲ
此場合伺ヒタイ

○井上國務大臣 昭和六年度ノ豫算
ニ、俸給額ト給料ヲ合計致シマシテ、六
百萬圓程減ツテ居リマスノハ、豫算ノ上
デ之ヲ減ジマシタノデアリマス、是マ
デ整理ヲ致シタ場合以外ニハ、左様ナ
コトヲシタコトハナイノデアリマス
ガ、今般ノ豫算ノ上ニハ、俸給給料ノ各
項目デ、ソレダケ減ツテ居リマス、是ハ其
大體ヲ申シマスト、補充ヲシナイト云

フ建前ヲ採リマシテ、サウシテ當分ヤッ
テ行カウ、即チ人ヲ減ラスト云フコト
デナシニ、缺員ガアレバソレヲ補充ス
ルノガ當然デアルガ、補充セズトモ官
度ヨリ大正十五年、詰リ昭和元年ニ至
リマス間ニ、ドノ位減ジタカト云フト
判任官ノ給料ハ約五百萬圓減ジテ居リ
マス、斯ウ云フ過去ノ實績ガ現レテ居
ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ
今回ノ行政財政一般ニ亘ツテ整理節約
ヲ致シタト云フヤウナコトヲ建前ニシ
テ論ゼラレルケレドモ、其實績ハ一向
目立モノガナイ、斯ウ云フ工合ニ考へ
ラレルノデアリマス、併ナガラ大藏大
臣ニ於テモ、高等官以上ノ者ニ手ハ
件費ニ於テモ、高等官以上ノ者ニ手ハ
餘リ下サナイデ、判任官雇員以下ノ者
ニ斧鉄ヲ主ニ加ヘタノデアルト、斯様
ニ私ハ認メラレルノデアリマスガ、ソ
レニ違ヒハナイカドウカト云フコトヲ
此場合伺ヒタイ

○井上國務大臣 昭和六年度ノ豫算
ニ、俸給額ト給料ヲ合計致シマシテ、六
百萬圓程減ツテ居リマスノハ、豫算ノ上
デ之ヲ減ジマシタノデアリマス、是マ
デ整理ヲ致シタ場合以外ニハ、左様ナ
コトヲシタコトハナイノデアリマス
ガ、今般ノ豫算ノ上ニハ、俸給給料ノ各
項目デ、ソレダケ減ツテ居リマス、是ハ其
大體ヲ申シマスト、補充ヲシナイト云

フ建前ヲ採リマシテ、サウシテ當分ヤッ
テ行カウ、即チ人ヲ減ラスト云フコト
デナシニ、缺員ガアレバソレヲ補充ス
ルノガ當然デアルガ、補充セズトモ官
度ヨリ大正十五年、詰リ昭和元年ニ至
リマス間ニ、ドノ位減ジタカト云フト
判任官ノ給料ハ約五百萬圓減ジテ居リ
マス、斯ウ云フ過去ノ實績ガ現レテ居
ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ
今回ノ行政財政一般ニ亘ツテ整理節約
ヲ致シタト云フヤウナコトヲ建前ニシ
テ論ゼラレルケレドモ、其實績ハ一向
目立モノガナイ、斯ウ云フ工合ニ考へ
ラレルノデアリマス、併ナガラ大藏大
臣ニ於テモ、高等官以上ノ者ニ手ハ
件費ニ於テモ、高等官以上ノ者ニ手ハ
餘リ下サナイデ、判任官雇員以下ノ者
ニ斧鉄ヲ主ニ加ヘタノデアルト、斯様
ニ私ハ認メラレルノデアリマスガ、ソ
レニ違ヒハナイカドウカト云フコトヲ
此場合伺ヒタイ

○井上國務大臣 昭和六年度ノ豫算
ニ、俸給額ト給料ヲ合計致シマシテ、六
百萬圓程減ツテ居リマスノハ、豫算ノ上
デ之ヲ減ジマシタノデアリマス、是マ
デ整理ヲ致シタ場合以外ニハ、左様ナ
コトヲシタコトハナイノデアリマス
ガ、今般ノ豫算ノ上ニハ、俸給給料ノ各
項目デ、ソレダケ減ツテ居リマス、是ハ其
大體ヲ申シマスト、補充ヲシナイト云

フ建前ヲ採リマシテ、サウシテ當分ヤッ
テ行カウ、即チ人ヲ減ラスト云フコト
デナシニ、缺員ガアレバソレヲ補充ス
ルノガ當然デアルガ、補充セズトモ官
度ヨリ大正十五年、詰リ昭和元年ニ至
リマス間ニ、ドノ位減ジタカト云フト
判任官ノ給料ハ約五百萬圓減ジテ居リ
マス、斯ウ云フ過去ノ實績ガ現レテ居
ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ
今回ノ行政財政一般ニ亘ツテ整理節約
ヲ致シタト云フヤウナコトヲ建前ニシ
テ論ゼラレルケレドモ、其實績ハ一向
目立モノガナイ、斯ウ云フ工合ニ考へ
ラレルノデアリマス、併ナガラ大藏大
臣ニ於テモ、高等官以上ノ者ニ手ハ
件費ニ於テモ、高等官以上ノ者ニ手ハ
餘リ下サナイデ、判任官雇員以下ノ者
ニ斧鉄ヲ主ニ加ヘタノデアルト、斯様
ニ私ハ認メラレルノデアリマスガ、ソ
レニ違ヒハナイカドウカト云フコトヲ
此場合伺ヒタイ

○井上國務大臣 昭和六年度ノ豫算
ニ、俸給額ト給料ヲ合計致シマシテ、六
百萬圓程減ツテ居リマスノハ、豫算ノ上
デ之ヲ減ジマシタノデアリマス、是マ
デ整理ヲ致シタ場合以外ニハ、左様ナ
コトヲシタコトハナイノデアリマス
ガ、今般ノ豫算ノ上ニハ、俸給給料ノ各
項目デ、ソレダケ減ツテ居リマス、是ハ其
大體ヲ申シマスト、補充ヲシナイト云

フ建前ヲ採リマシテ、サウシテ當分ヤッ
テ行カウ、即チ人ヲ減ラスト云フコト
デナシニ、缺員ガアレバソレヲ補充ス
ルノガ當然デアルガ、補充セズトモ官
度ヨリ大正十五年、詰リ昭和元年ニ至
リマス間ニ、ドノ位減ジタカト云フト
判任官ノ給料ハ約五百萬圓減ジテ居リ
マス、斯ウ云フ過去ノ實績ガ現レテ居
ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ
今回ノ行政財政一般ニ亘ツテ整理節約
ヲ致シタト云フヤウナコトヲ建前ニシ
テ論ゼラレルケレドモ、其實績ハ一向
目立モノガナイ、斯ウ云フ工合ニ考へ
ラレルノデアリマス、併ナガラ大藏大
臣ニ於テモ、高等官以上ノ者ニ手ハ
件費ニ於テモ、高等官以上ノ者ニ手ハ
餘リ下サナイデ、判任官雇員以下ノ者
ニ斧鉄ヲ主ニ加ヘタノデアルト、斯様
ニ私ハ認メラレルノデアリマスガ、ソ
レニ違ヒハナイカドウカト云フコトヲ
此場合伺ヒタイ

○井上國務大臣 昭和六年度ノ豫算
ニ、俸給額ト給料ヲ合計致シマシテ、六
百萬圓程減ツテ居リマスノハ、豫算ノ上
デ之ヲ減ジマシタノデアリマス、是マ
デ整理ヲ致シタ場合以外ニハ、左様ナ
コトヲシタコトハナイノデアリマス
ガ、今般ノ豫算ノ上ニハ、俸給給料ノ各
項目デ、ソレダケ減ツテ居リマス、是ハ其
大體ヲ申シマスト、補充ヲシナイト云

ガ、是ハ實際決算ヲシテ見マセヌト、申上ゲルコトハ出來兼ネルノデアリマス、先日高橋君ガ要求ナレマシタ昭和四年度ノ一般會計特別會計ニ瓦ル賞與金ノ調ガ大層遲延致シマシタ如ク、昭和四年度デサヘモ左様ナ次第デゴザイマスカラ、ドウカ五年度ノ事ハ左様諒承ヲ願テ置キタウゴザイマス。

○高橋委員 私ハ詳シイ數字ヲ伺ッタノデハナイノニアリマシテ、凡ソ何割位御減ジニナル計畫デ、官吏ノ賞與金ノ減額ヲ以テ官吏ノ減俸ニ對抗スルダケノ減額ヲ爲シ得タリト稱セラレルカ、之ヲ伺ッテ居ツタノニアリマス、ソレデアリマスカラ何割位ト云フ大體ノ事サヘ承レバ、私共ハ見當ガ付クノデアリマス、サウ致シマセネバ、私共ハ見當ガ付キ得ナイゾデ少シ困ルノニアリマス、ソレデ其數字ヲ伺ッテ居ルノデ、是ハ幾ラカ出來ルダラウト云フ事ヲ伺ッテ居ルノデハナイ、ドノ位ノ「バー・センタージ」トカ或ハ、二割トカ、或ハ三割トカ、或ハ前年度ノ「バー・センタージ」ニ比シテ五割減シタトカ、六割減シタトカ、或ハ七割減ス積リデアッタガ五割シカ減ラセナカッタトカ、斯ウ云フ事ハアリ得ル事ニアリマセウガ、凡ソ其目安ヲドノ邊ニ置カレタカ、之ヲ伺ッテ置キマス。

○井上國務大臣 同ジヤウナ答辯ヲ致

シマシテ、甚ダ恐縮致シマスガ、達觀的メテ置キマス、何レ是等ニ付テハ私ノニ何割減ツタラウカト云フコトハ申上ニ於テハ一人當リニ賞與金ヲ澤山ヤッテ居リニスレバ大層多イ所デモ、人ノ多イ所ハ一人當リニ付テ僅ナ所モアリマス、ソコニ各省大臣ノ覺悟ト手加減ガアルノニアリマシテ、豫算ノナイ科目デアリマスカラ、達觀的ニ申上ゲルコトハ出來兼ネマス

○高橋委員 ソレデハ年度末賞與、或ハ年末賞與ト云フモノ、減額ト云フモノハ、大變大袈裟ニ大藏大臣ハ言ハレマスルケレドモ、餘り正確ナモノデハナイ、成ベク減ジロト云フヤウナ程度ノモノデアッテ、其實績ガ舉ルカドウカノモノナシ、現ニ斯様ナモノ、節約ヲシロト云フ建前デ以テヤツタ四年度ノ豫算ニ依リマシテモ、特別會計ニ於テハハ年未賞與ト云フモノ、減額ト云フモ影響ヲ及ボスダラウト云フコトヲ吾々考ヘテ居リマス、ソレデ色々々ノ表モ戴

シテ戴ク積リデアリマスガ、若シ餘リスガ、餘程混雜ヲシテ居リマス、他ノ先輩諸君カラモ、私ノ足リナイ所ヲ補充コトニ付テ大ニ懸念ヲ持ッテ居ル、經濟ヲ窮迫ナラシメルノハ無論ノコトデアリマシテ、將來ノ納稅成績ニモ大ナルコトニ付テ大ニ懸念ヲ持ッテ居ル、經濟ノモノナシテ、十分ニ之ニ付テ御詮議ヲ煩ハ

シテ戴ク積リデアリマスガ、若シ餘リスガ、餘程混雜ヲシテ居リマス、他ノ先輩諸君カラモ、私ノ足リナイ所ヲ補充コトニ付テ大ニ懸念ヲ持ッテ居ル、經濟ノモノナシテ、十分ニ之ニ付テ御詮議ヲ煩ハ

シテ戴ク積リデアリマスガ、又觀念ノ違ヒダ、意見ノ相違マシテ、十分ニ之ニ付テ御詮議ヲ煩ハ

シテ戴ク積リデアリマスガ、又觀念ノ違ヒダ、意見ノ相違マシテ、十分ニ之ニ付テ御詮議ヲ煩ハ

シテ戴ク積リデアリマスガ、又觀念ノ違ヒダ、意見ノ相違マシテ、十分ニ之ニ付テ御詮議ヲ煩ハ

シテ戴ク積リデアリマスガ、又觀念ノ違ヒダ、意見ノ相違マシテ、十分ニ之ニ付テ御詮議ヲ煩ハ

此九十二條ノ條項ニ依リマスルト云フト、
「土地賃貸價格調査法ニ依リ賃貸價
格ノ調査ヲ爲シタル土地ニ付テハ同法
ニ依リ調査シタル賃貸價格ヲ以テ本法
施行ノ際ニ於ケル賃貸價格トス、但シ、」
但シカラ其條項ニナッテ居ルノデス、
「但其ノ賃貸價格ニ依リ算出シタル本
法ノ地租額ガ從前ノ地價ニ依リ算出シ
タル舊法ノ地租額ノ三倍八割ヲ超ユル
土地ニ在リテハ舊法ノ地租額ノ三倍八
割ニ相當スル金額ヲ百分ノ三・八ヲ以
テ除シタル金額ヲ以テ其ノ賃貸價格ト
ス」斯ウ云フ條文デアリマスルガ、之ニ
私ハ幾多ノ疑問ヲ挾ムト云フノハ、是
ハ地租ト云フモノヲ押ヘテ三倍八割ニ
止メタト云フコトニナルノデ、何ガ故
ニ是ハ賃貸價格ト云フモノニ——地價

○井上國務大臣 此事柄ハ過去ノ歴史
モアリマス、又實際ノ場合モアリマス
ス」高橋サンノ御聽ニナリマシタ此前ノ宅
地價修正ノ際ノ市街地宅地價ハ現在地
價ノ十八倍、郡村宅地ニ付テハ現在地
價ノ七倍二割ト制限シタルト云フコトハ
非常ナ不同ガ生ズルト吾々ハ考ヘルノ
デアリマス、此改正ノ結果ト致シテ、宅
地田畠竝ニ其他ノ土地ト、此三種類ヲ
リマスルノハ、是ハ全ク市街地宅地ト
マスルヨリハ、地價ノ改正ヲヤッタト申シ
正ヲヤリ、地租法ノ改正ヲヤッタト申シ
マスルヨリハ、地價ノ改正ヲヤッタ、宅
地ノ改正ヲヤッタ時分ニハ、私ノ記憶ニ
依リマスト云フト、市街地宅地ニ於テ
ハ十八倍、郡村宅地ニ於テハ七倍二割
ス、私ノ記憶ガ誤デアルカドウカ分リ
マセヌガ、是ハ大シタ事デヤナインオデ

スガ、サウ云フヨトニ標準ヲ取ッタノ
デ、地價ト云フモノデアッテ、地租ト云
フモノニ制限ヲ置イタノヂヤナイ、是
ニ依ルト云フト公平ニ相成ル、斯
ガ當然デアルダラウトスウ考ヘルノデ
ス、此度地租ヲ捉ヘテ、地租ガ三倍八割
以上ニ上ツタモノヲ、之ヲ三倍八割ニ制
限スルト云フコトハ、何ノ必要デ斯ウ
云フコトヲ爲サレタノカ、是ガ私ノ第
一ノ質問デアリマス

○青木政府委員 御答致シマス、只今
カラ、政府委員カラシテ一應説明致シ
マシテ、ソレカラ後ニ申上グマス

○高橋委員 今度ノ改正ニ依リマスト
仰セノ通リデアリマス、即チ市街宅地
ニ於テ十八倍、郡村宅地ニ於テ七倍二
割ト云フコトガ、其制限ノ率ガ異ツテ居
地田畠竝ニ其他ノ土地ト、此三種類ヲ
採ツテ比較シテ見マスト、地租額ニ比例
シテ増加率ヲ或ル程度マデ止メルト云
算ニ用ヒタ此數字、三八ト云フモノヲ
計算ニ用ヒタ結果ト致シマシテ、今迄
ノ税率ヲ倍數ニ直シタゞケノ隔タリガ
其處ニ出テ來ルヤウニ私ハ考ヘルノデ
アリマス、即チ其結果ト致シテ、田畠ハ
之ヲ賃貸價格ニ直シテ見テドレダケニ
ナルカト云フト、四倍五割ニ制限率ハ
上ツテ、宅地ハ二倍五割デ賃貸價格ガ止
メラレ、其他ノ土地ハ五倍五割マデ制
限率ハ高マツテ居ルト云フ不平等ナモ
ノニナッテ參ルノデアリマス、是ハ私ハ
甚ダ當ヲ得ザルコトデアルト思フノデ
アリマス、是等ノ事ハ數字上ニ互リマ

スカラ、出來ルナラバ明日ニ致シテ、政

府委員ノ諸君モ委員諸君モ御疲勞ノヤ

ウニ見受ケマヌノデ、委員長ノ御許ヲ

得マシタナラバ、先程理事諸君ト打合

セタ六時ハモウ三十分バカリ過ギテ居

リマスカラ、今日ノ私ノ質問ハ此程度

デ止メタイト思ヒマス

○青木政府委員 私ハ高橋サンニ御考

慮ヲ願ヒマスガ、若シモ地價ト云フ課

稅標準ニ付テ考ヘルナラバ、一ツハ十

八倍ニナツタリ、一ツハ七倍二割ニナツ

タリシテ、其地價ニ付テノ倍數ヲ考ヘ

ルト、市街宅地ト郡村宅地ハ權衡ヲ得

テ居ラヌト申スカ、一方ハ十八倍デ一

方ハ七倍二割デアル、隨テ正確ナ倍數

ヲ見ルト、此前ノ時デモ市街宅地デモ、

郡村宅地デモ、皆稅率ガ二倍二割五分

ニナツテ居リマス、今度モアナタノ仰セ

ニナル如クニ田畠、宅地ト稅率ガ違フ

カラ、賃貸價格ニ直スト倍數ガ違ッテ參

リマス、斯ウ考ヘテ居ルノハ地租ガ激

増シテハ困ルカラト云フノデ、其地租

ヲ押ヘテ三倍八割ト致シタ、此前ハ二

倍二割五分ト致シマシタ、賃貸價格ニ

致シマスレバ稅率ガ異ルニ依ツテ、皆倍數ガ違フト云フコトハ當然デゴザイマ

ス
○高橋委員 アナタノ仰セニナツタコ

トハ私モ能ク考ヘテ見マスガ、四十三

年ノ時ハ其通リヤツタ、其時ニヤツタノ

ト今度ト比較シテアナタノ説明ヲ聽イ

タバケデ、ソレガ爲ニ四十三年モサウ

ヤツタカラ今度モサウヤランケレバナ

ラヌ道理ダトハ私ハ考ヘテ居ラヌ、建

前ガ根本的ニ違フノデスカラ——地價

ヲ賃貸價格ニ直シタ理由如何ト云フコ

トヲ御考慮ニナレバ、只今ノ説明ナド

ハ當ツテ居ナイト云フコトヲ、更ニアナ

タニ明日マデ御考置キヲ願ヒマス

○本田委員長 是デ散會ヲ致シマス、

明日ハ午前十時ヨリ開會ヲ致シマス

午後六時二十七分散會